

間接工事費等諸経費動向調査 (令和2年度竣工工事対象)

②発注者用入力マニュアル Ver20.03

調査票提出先及び提出期限

- 1) 元請担当者 → 発注事務所等担当者
(**工事完了後、20日以内**に発注事務所等担当者へ提出及び調査票配布サイト (RepoBox) よりアップロードにて提出)
- 2) 発注事務所等担当者
(**工事完了後、30日以内**に調査票配布サイト (RepoBox) よりアップロードにて提出。なお、本サイトは令和3年3月31日まで運用を予定しています。それ以降は、発注担当事務所等で保管し、後日、提出となる予定です。)

注) 繰越等により令和2年度に完了しなかった工事についても、調査は継続となりますので、**本調査票 (令和2年度竣工工事対象) により提出してください。**

調査票を受領後、調査担当機関より記載事項について聞き取り調査を行うことがあります。その際、根拠となった契約書等の提示を求められることがありますので、ご協力のほどお願いいたします。また、**調査票は令和4年3月末頃迄保管していただくよう**お願いいたします。

<調査票入力に関する問合せ先>

一般財団法人 国土技術研究センター
技術・調達政策グループ

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-12-1 (ニッセイ虎ノ門ビル9階)

TEL 03-4519-5004

FAX 03-4519-5015

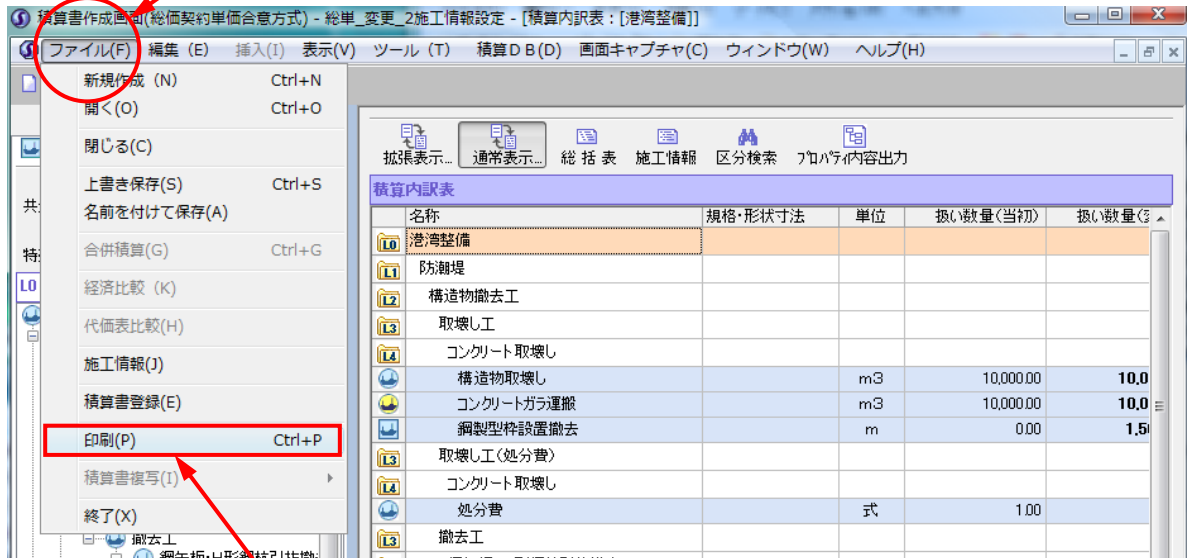
※問合せは、平日 (祝日を除く月曜日～金曜日) の午前9時30分から12時、午後1時から午後6時の間にお願いします。

間接工事費等諸経費動向調査票入力における留意点

間接工事費等諸経費動向調査票（発注者用）において、港湾請負工事積算システムでは、「使用資材集計表」にて代価表内の項目毎に分類した集計結果を以下の手順より、確認することができます。

①積算書を開き、[ファイル]—[印刷]をクリックし、「印刷メニュー」を開いてください。

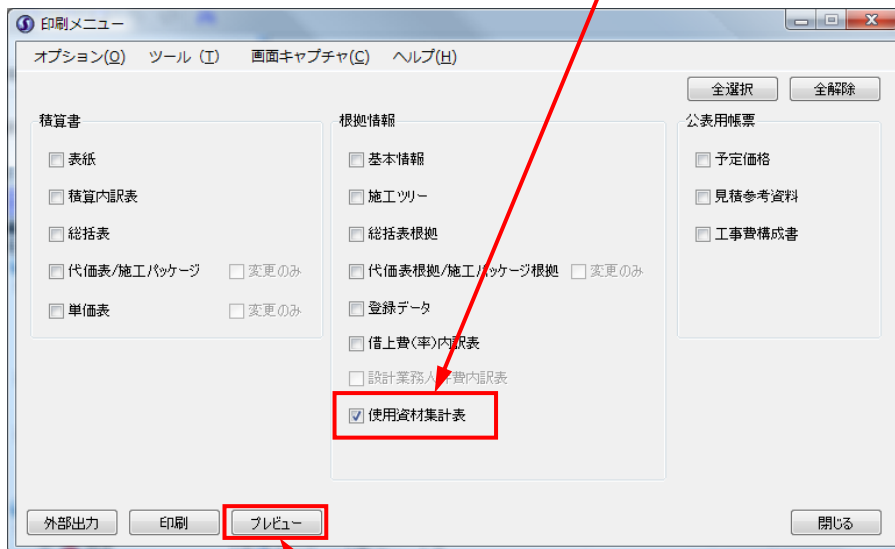
『ファイル』をクリックしてください。



『印刷』をクリックしてください。

②「印刷メニュー」内の「使用資材集計表」にチェックを入れ、[プレビュー]をクリックしてください。

『使用資材集計表』にチェックを入れてください。



[プレビュー]をクリックしてください。

港湾

③分類毎の一覧と、代価表単位の単価内訳表が表示されます。

総価契約単価合意方式の場合、この集計結果で表示される金額は、積上方式の積算金額の集計となります。ただし、振り分けた際の端数処理で労務等の内訳合計が積算金額と一致しない場合があります。その場合は、積算額と合うように内訳を調整してください。

「使用資材集計表（労務）」の表示例

印刷プレビュー画面
外部出力(E) 印刷(P) 画面キャプチャ(C) ヘルプ(H)
プレビュー帳票選択 (使用資材集計表)

使用資材集計表(労務) 総価契約単価合意方式の積算

コード	名称	規格・形状寸法	単位	数量	単価	金額	単価採用年月日	備考
R0125	世話役		人	6.80	23,700.00	156,420	平成27年02月01日	
R0115	運転手(一般)		人	272.92	19,200.00	5,240,064	平成27年02月01日	
R0114	運転手(特殊)		人	329.00	22,500.00	7,399,000	平成27年02月01日	
R0113	溶接工		人	6.80	27,900.00	184,140	平成27年02月01日	
R0106	とび工		人	13.20	24,600.00	324,720	平成27年02月01日	
R0102	普通作業員		人	104.10	19,200.00	1,998,720	平成27年02月01日	
R0101	特殊作業員		人	5.90	22,200.00	130,980	平成27年02月01日	

「使用資材集計表（代価単位の単価内訳表）」の表示例

印刷プレビュー画面
外部出力(E) 印刷(P) 画面キャプチャ(C) ヘルプ(H)
プレビュー帳票選択 (使用資材集計表(代価単位の単価内訳表))

使用資材集計表(代価単位の単価内訳表) 総価契約単価合意方式の積算

名称	規格・形状寸法	単位	数量	労務	材料	市場単価	損料	賃料	金額
全符合計				16,191,498	6,917,923	65,069,000	10,691,270	644,980	99,499,076
道橋工事費				15,470,750	4,132,220	62,369,000	10,605,595	359,980	92,936,050
防凍堤				15,470,750	4,132,220	62,369,000	10,605,595	359,980	92,936,050
構造物撤去工				7,496,750	2,644,325	60,400,000	6,678,595	82,500	77,301,600
取壊し工				6,704,750	2,013,225	60,400,000	6,678,595	0	75,796,000
コンクリート取壊し				6,704,750	2,013,225	60,400,000	6,678,595	0	75,796,000
1 構造物取壊し		m ³	10,000.00	0	0	60,400,000	0	0	60,400,000
2 コンクリートガラ運搬		m ³	10,000.00	5,240,000	1,950,000	0	6,340,000	0	18,530,000
16 鋼製型枠設置撤去		m	1,500.00	1,464,750	63,225	0	339,595	0	1,866,000
取壊し工(処分費)				0	0	0	0	0	20,000
コンクリート取壊し				0	20,000	0	0	0	20,000
3 処分費		式	1.00	0	20,000	0	0	0	20,000

目 次

1 諸経費動向調査 Q&A.....	1
1-1 共通.....	1
1-2 「工事費」シート.....	1
2 調査票の配布及び入力後の提出フロー.....	2
3 各担当者別の作業手順.....	3
4 配布物及び提出物.....	4
4-1 発注機関より配布する提出用資料.....	4
4-2 調査票配布サイト (RepoBox) よりダウンロードするもの.....	4
4-3 入力後提出するもの.....	5
5 調査票作成の手順.....	6
6 システム環境.....	7
7 入力システム使用上の注意.....	8
7-1 入力システムの事前準備.....	8
7-2 計算方法.....	9
7-2-1 「計算方法」の設定.....	9
8 入力システムのシート構成.....	11
9 入力システムの作業フロー.....	13
10 入力時の注意事項.....	14
11 入力方法及び入力項目の内容.....	15
11-1 「開始画面」シート.....	15
11-2 「工事情報」シート.....	16
11-2-1 入力例 (工事情報シート).....	16
11-2-2 入力項目 (工事情報シート).....	17
11-3 「一般事項」シート.....	19
11-3-1 入力例 (一般事項シート).....	19
11-3-2 入力項目 (一般事項シート).....	20
11-4 「工事費」シート.....	26
11-4-1 入力例 (工事費シート).....	26
11-4-2 入力項目 (工事費シート).....	28
11-5 「工期」シート.....	34
11-5-1 入力例 (工期シート).....	35
11-5-2 余裕期間に関する入力項目 (工期シート).....	36
11-5-3 工期に関する入力項目 (工期シート).....	36
11-6 「施工環境」シート.....	38
11-6-1 入力例 (施工環境シート).....	38
11-6-2 入力項目 (施工環境シート).....	39
11-7 「二次製品」シート.....	42
11-7-1 入力例 (二次製品シート).....	42

港湾

11-7-2 入力項目（二次製品シート）	43
11-8 「準備費」シート	44
11-8-1 入力例（準備費シート）	44
11-8-2 入力項目（準備費シート）	44
11-9 「積算方式」シート	45
11-9-1 入力例（準備費シート）	45
11-9-2 入力項目（積算方式シート）	45
11-10 「ICT」シート.....	46
11-10-1 入力例（ICT シート）	46
11-10-2 入力項目（ICT シート）	47
11-11 「感染対策」シート.....	49
11-11-1 入力例（感染対策シート）	49
11-11-2 入力項目（感染対策）	50
11-12 「確認」シート.....	51
11-12-1 入力例（確認シート）	51
11-12-2 確認項目（確認シート）	52
11-13 『元請調査票データ』シート	55
11-14 「チェック」シート.....	56
11-14-1 入力例（チェックシート）	56
11-14-2 チェック項目（チェックシート）	57
11-15 「要確認一覧表」シート	59
12 エラー（E）について	71
13 提出物.....	74

1 諸経費動向調査 Q&A

1-1 共通

Q1 入力システムへの入力に際してパスワードを要求される場合には？

→A：パスワードが要求される個所は、入力の必要がない個所です。

入力対象は、薄黄色のセルのみです。薄緑色のセルは数式等が入っているため、自動入力です。【マニュアルP.14を参照して、入力してください。】

Q2 マニュアル記載の入力例と入力システムの表示画面が異なる場合には？

→A：初期入力段階では異なる場合があります。（入力項目の増減がある為）

Q3 エラー『E』表示が消えない場合には？

→A：エラー『E』表示の内容については、**マニュアルP.71を参照して、確認してください。**

Q4 エラー『#REF!』の表示が出た場合には？

→A：Excelのエラー『#REF!』の表示の場合は、入力作業の段階で**入力システムが破損**したことが考えられます。本マニュアル表紙の<問合せ先>へご連絡下さい。

Q5 エラー（『#N/A』、『VALUE!』）等の表示が出た場合には？

→A：Excelのエラー（『#N/A』、『VALUE!』）の表示の場合は、数値入力セルに文字入力等の誤入力が考えられます。再度入力セルの確認をお願いします。

1-2 「工事費」シート

Q6 積算システムから出力出来る集計リスト（機・労・材リスト）の合計金額と、調査票入力の直接工事費の合計金額が合わない場合には？

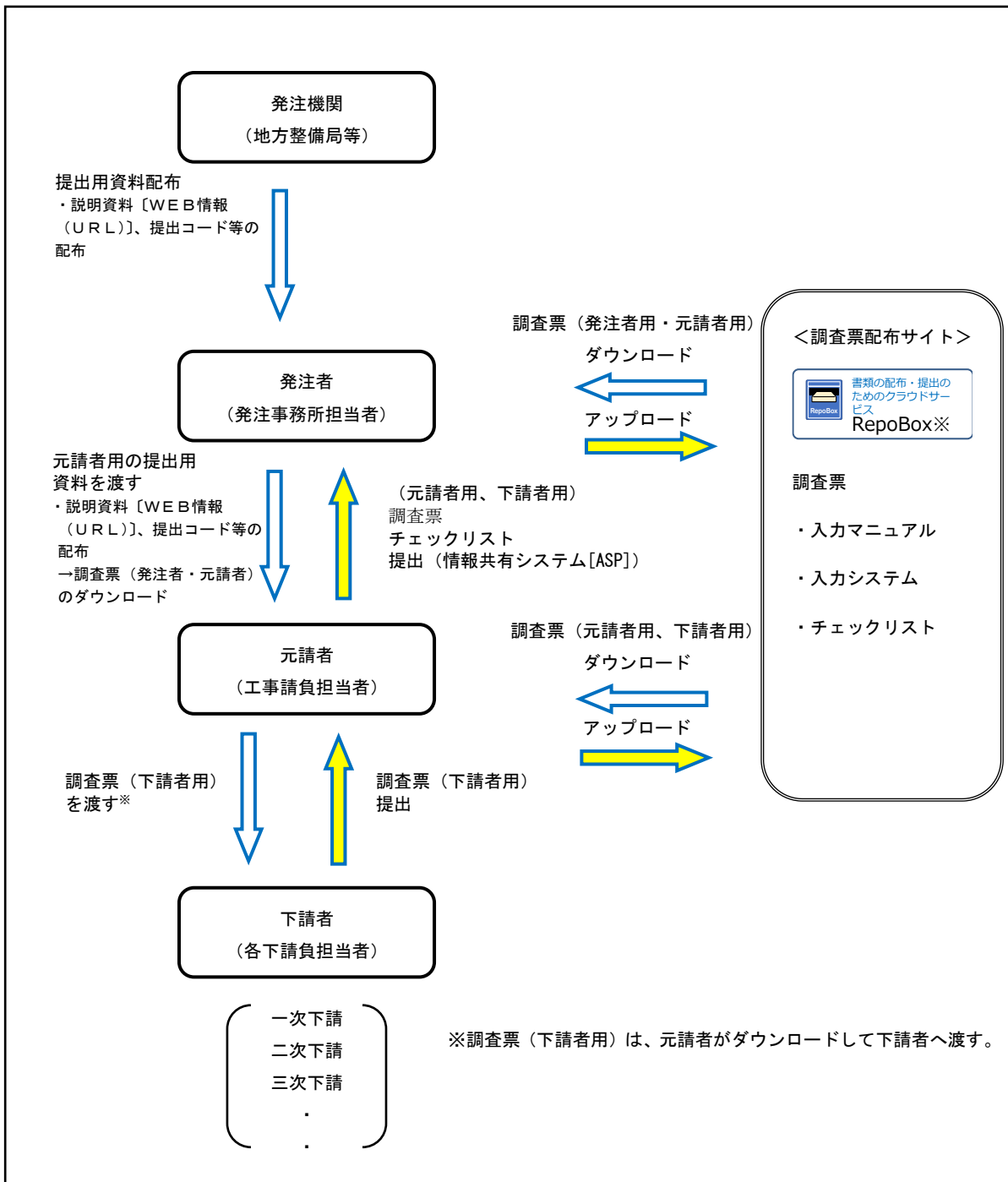
→A：集計リスト（機・労・材リスト）の金額には、**共通仮設費（積上げ分）、鋼橋等工場製作費及び別途調査等工事価格が含まれている場合があります**ので、前記を控除した金額を計上してください。
【マニュアルP.29～33を参照して、入力してください。】

例）通常、集計リストの労務費には、共通仮設費（積上げ分）安全費の交通誘導警備員が含まれていますので、交通誘導警備員を控除した金額を労務費に計上してください。

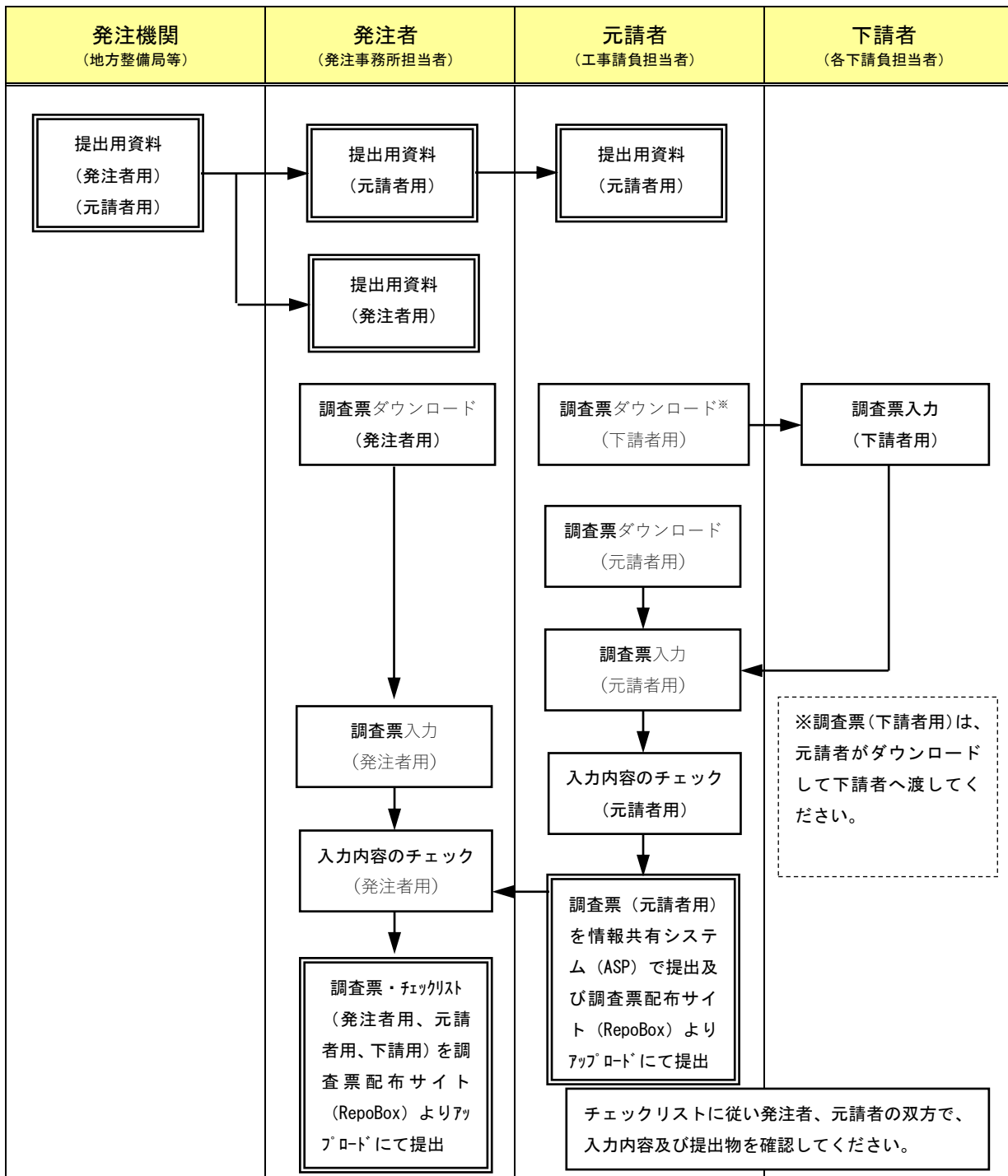
Q7 使用している積算システムでは、直接工事費の内訳（材料費、労務費、機械器具等損料等）が算出できません、どうしても内訳を記入しなければいけないですか？

→A：**直接工事費の内訳を使用して解析を行うため、直接工事費の内訳計上が必要になります。**お手数ですが、分解計上をお願いします。【マニュアルP.28を参照して、入力してください。】

2 調査票の配布及び入力後の提出フロー



3 各担当者別の作業手順



- 提出用資料（発注者用、元請者用）は、発注機関（地方整備局等）から配布されます。**元請者用の提出用資料を元請者へ渡してください。**
- 調査票は調査票配布サイトからダウンロードできます。発注者用をダウンロードすると共に、元請者に元請者用と下請者用をダウンロードするよう指示してください。
- 調査票（下請者用）の入力及び提出は『施工体制上の全ての業者』を対象に行ってください。下請者が無い場合は提出不要です。

4 配布物及び提出物

4-1 発注機関より配布する提出用資料

		備考
発注者のみ使用するもの		
	説明資料（・説明資料〔WEB情報（URL）〕	URL等が記載してあります。
	提出コード等の配布	
元請者のみ使用、又は発注者と元請者で共用するもの ※元請者へ渡してください		
	説明資料（・説明資料〔WEB情報（URL）〕	URL等が記載してあります。
	提出コード等の配布	

4-2 調査票配布サイト（RepoBox）よりダウンロードするもの

		ファイル名
調査票（発注者用）		
入力 マニュアル	調査票入力の詳細（発注者）	①調査票入力の詳細（発注者）.pdf
	発注者用入力マニュアル	②発注者用入力マニュアル.pdf
	発注者用工事一時中止 入力マニュアル	③発注者用工事一時中止入力マニュアル.pdf
入力 システム	発注者用入力システム	⑧発注.xlsx
	発注者用工事一時中止 入力システム	⑨発注者工事一時中止.xlsx
調査票（元請者用）		
入力 マニュアル	調査票入力の詳細（元請・下請）	④調査票入力の詳細（元請・下請）.pdf
	元請者用入力マニュアル	⑤元請者用入力マニュアル.pdf
	元請者用工事一時中止 入力マニュアル	⑥元請者用工事一時中止入力マニュアル.pdf
入力 システム	元請者用入力システム	⑩元請.xlsx
	元請者用工事一時中止 入力システム	⑪元請者工事一時中止.xlsx
調査票（下請者用）		
入力 マニュアル	調査票入力の詳細（元請・下請）	④調査票入力の詳細（元請・下請）.pdf
	下請者用入力マニュアル	⑦下請者用入力マニュアル.pdf
入力 システム	下請者用入力システム	⑫下請.xlsx
チェックリスト（発注者・元請者共用） ※始めに元請者から使用します。		
	間接工事費等諸経費動向調査チェックリスト	⑬チェックリスト.xlsx

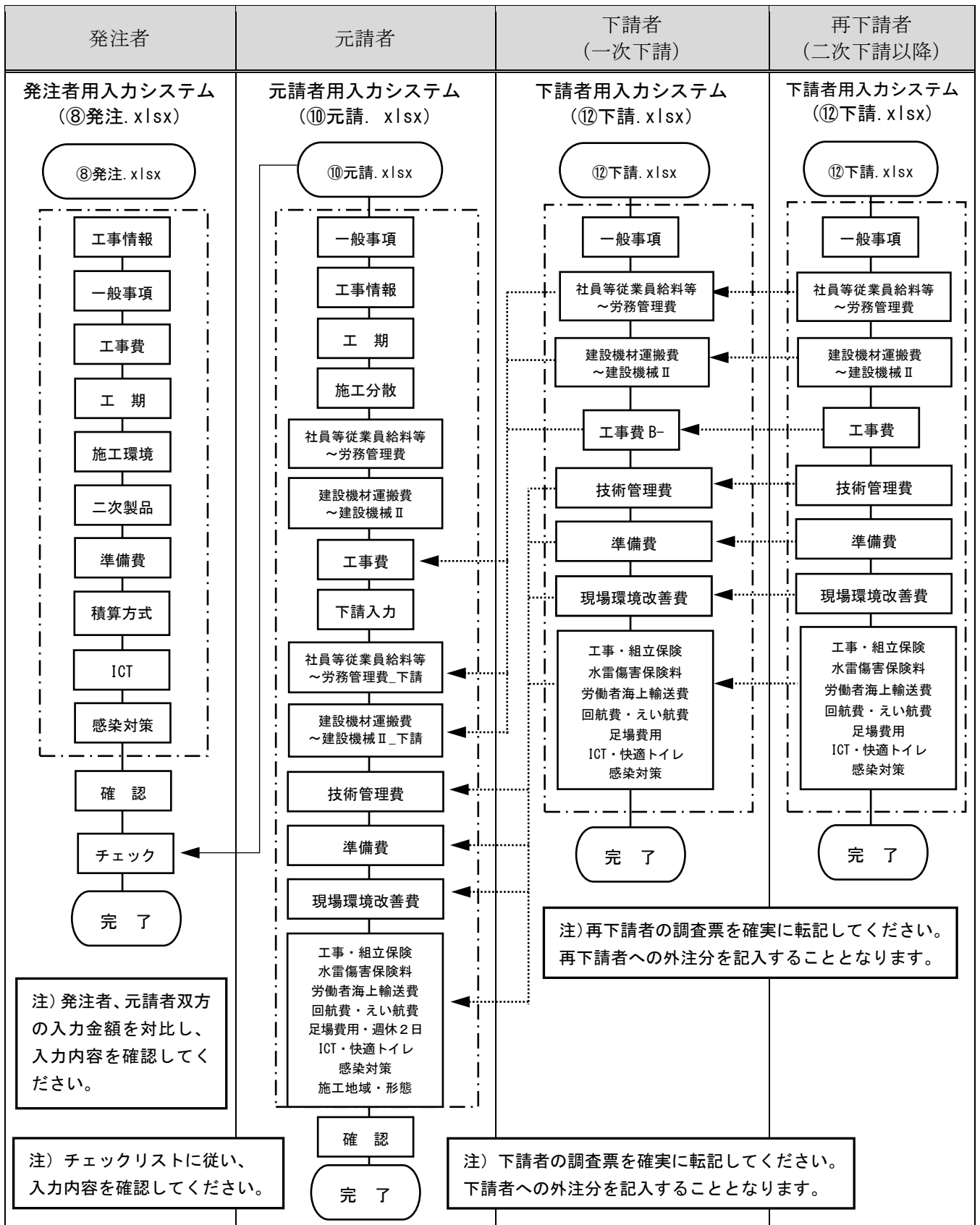
4-3 入力後提出するもの

以下一式を調査票配布サイト (RepoBox) よりアップロードにて提出してください。

		備考
調査票（発注者用）、チェックリスト		
発注者 電子データ	発注者用入力システム (⑧発注.xlsx)	
	発注者用工事一時入力システム (⑨発注者工事一時中止.xlsx)	契約上の工事一時中止があった場合のみ提出してください。
	間接工事費等諸経費動向調査 チェックリスト (⑬チェックリスト.xlsx)	各チェック項目に対して調査票入力内容を確認し、結果を入力したものを提出してください。(元請者が記入した様式に上書きしてください)
調査票（元請者用）（下請者用）、チェックリスト ※元請者から回収してください		
元請者 電子データ	元請者用入力システム (⑩元請.xlsx)	
	元請者用工事一時入力システム (⑪元請者工事一時中止.xlsx)	契約上の工事一時中止があった場合のみ提出してください。
	下請者用入力システム (⑫下請.xlsx)	下請者がある場合は下請全社分のデータを提出してください。(下請者が無い場合は提出不要です)
	間接工事費等諸経費動向調査 チェックリスト (⑬チェックリスト.xlsx)	各チェック項目に対して調査票入力内容を確認し、結果を入力したものを提出してください。

5 調査票作成の手順

凡例 一点鎖線枠内：入力シート 実線矢印：データ読み込み 点線矢印：データ転記



6 システム環境

諸経費動向調査入力システムが、正常に動作するために必要なシステム環境を以下に記します。
なお、【推奨】と記された項目は、システムを快適にご使用頂くために推奨するシステム環境です。

◆コンピュータ本体

Pentium 200MHz 以上の CPU を搭載し、Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10 のいずれか) が稼動するパーソナルコンピュータ。

【推奨】 Intel Core2Duo 2.0GHz 以上の CPU を搭載し、Microsoft Windows8 以降の OS が稼動するパーソナルコンピュータ。

◆メモリ

コンピュータ本体メモリ 2GB 以上。

【推奨】 コンピュータ本体メモリ 4GB 以上。

◆ディスプレイ

コンピュータ本体に接続可能で、Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10 のいずれか) に対応しているカラーまたはモノクロディスプレイ。

【推奨】 1280×1024 ドット表示可能な 17 インチのカラーディスプレイ。

◆使用可能マウス

コンピュータ本体に対応し、Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10 のいずれか) で使用が可能なもの。

◆基本ソフトウェア

コンピュータ本体に対応した Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10 のいずれか) が必要。
また、別途 Microsoft Excel (Excel 2013、Excel 2016 のいずれか) 及び Microsoft Word (Word 2013、Word 2016 のいずれか) が必要。

◆プリンタ

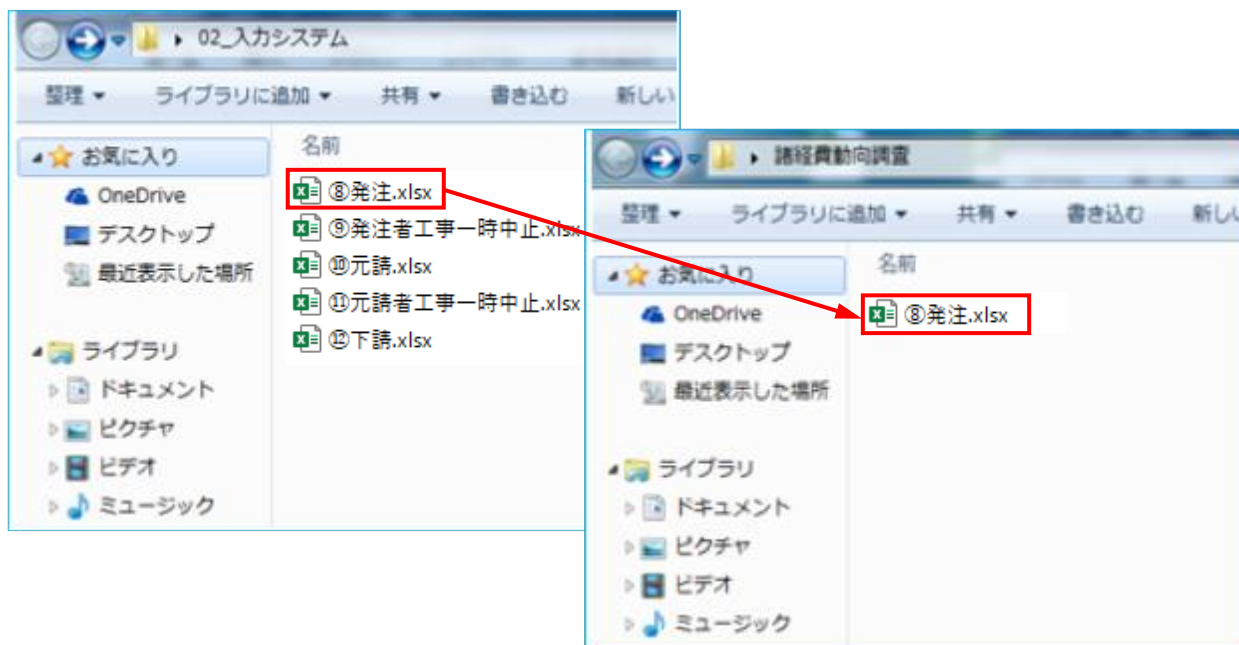
Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10 のいずれか) に準じるプリンタ。

7 入力システム使用上の注意

7-1 入力システムの事前準備

パソコンのハードディスクに調査票配布サイトよりファイルをダウンロードし、使用してください。

作成するフォルダの場所及びフォルダ名は任意で構いません。



ハードディスク内のマイドキュメントに「諸経費動向調査」フォルダを作成し、入力システム（⑧発注.xlsx）をコピーしたイメージです。

7-2 計算方法

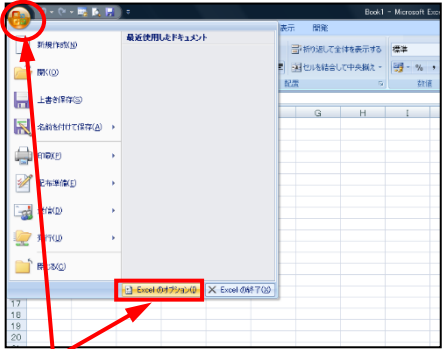
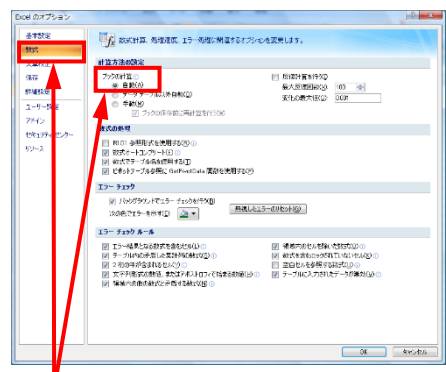
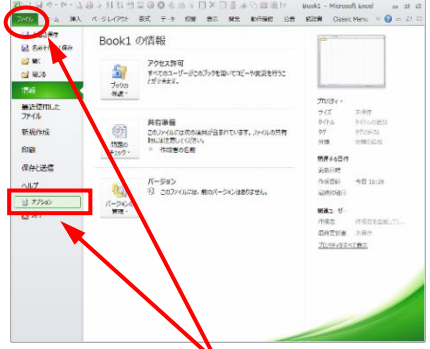
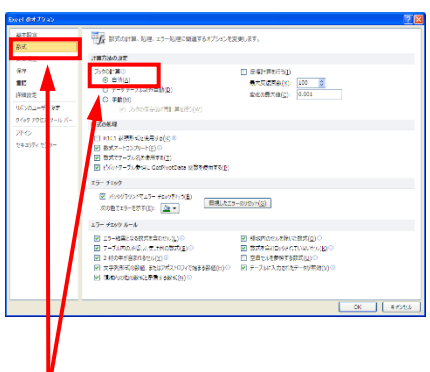
入力システムを操作する前に、以下の設定を必ず行ってください。

※使用する Excel のバージョンにより、設定方法が異なります。

使用するパソコンの Excel バージョンを確認して、設定を行ってください。

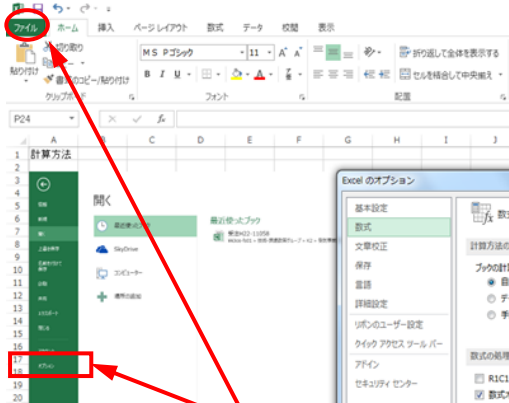
Excel バージョンは、「ヘルプ」メニューの『バージョン情報』を選択すると確認できます。

7-2-1 「計算方法」の設定

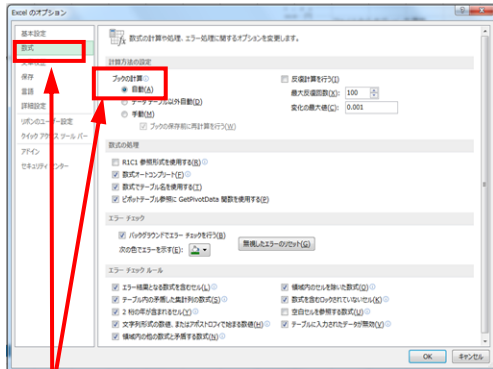
Excel 2007 の場合	Excel 2010 の場合
<p>① 計算方法を『自動』にする</p>  <p>「Office ボタン」から「Excel のオプション」を選択</p>  <p>「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択</p>	<p>① 計算方法を『自動』にする</p>  <p>「ファイル」から「オプション」を選択</p>  <p>「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択</p>

Excel 2013 以降の場合

① 計算方法を『自動』にする



「ファイル」から「オプション」を選択



「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択

8 入力システムのシート構成

入力システムは、以下のようなシート構成になっています。

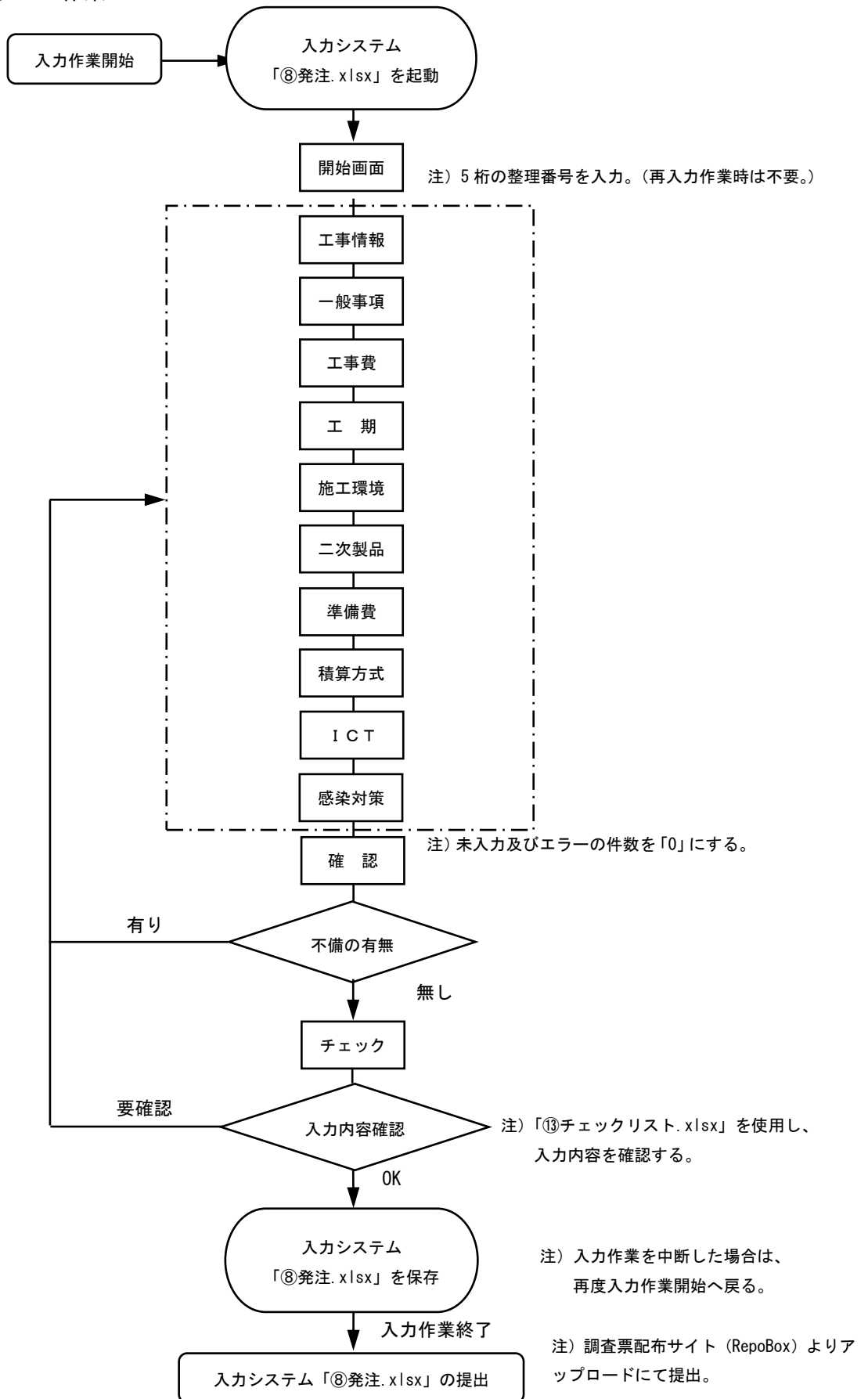
発注者用入力システム (⑧発注.xlsx)

シート名	シート内容	マニュアル掲載項
開始画面	入力を進めていく上での簡単な注意事項が書かれています。 入力するシートではありません。	P. 15
工事情報	工事名、請負金額、請負業者名等を入力します。	P. 16
一般事項	発注者側記入者、地域特性、工種、施工場所等を入力します。	P. 19
工事費	工事費（最終積算金額）の内訳を入力します。 工事費は、『直接工事費、間接工事費、一般管理費等』等について入力します。 直接工事費は、『材料費、労務費、機械器具等損料』等について入力します。 間接工事費は、『共通仮設費、現場環境改善経費、現場管理費』等について入力します。 また、共通仮設費率の対象となる『共通仮設費積算対象金額』について入力します。	P. 26
工期	設定作業日数、作業不能日数・不能要因、設定休日数等を入力します。	P. 34
施工環境	施工環境に関する調査情報を入力します。	P. 38
二次製品	諸経費率に影響を与えていると考えられる二次製品に関する調査情報を入力します。	P. 42
準備費	立木、伐採等の補償について入力します。	P. 44
積算方式	不調不落対策の積算方式について入力します。	P. 45
ICT	ICT 活用工事について入力します。	P. 45
感染対策	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用について入力します。	P. 49
確認	各シートで入力した調査情報について、確認と未入力及びエラー件数を確認するシートです。	P. 51
元請調査票データ	元請調査票データを貼り付けるシートです。	P. 55
チェック	発注者の入力金額（最終積算金額）と元請者の入力金額（最終実績金額）を対比し、双方の入力金額を確認するシートです。 注）「チェック」の操作を必ず行ってください。	P. 56
要確認	「チェック」シートでの「チェック結果」欄に表示される「要確認」	P. 59

港湾

シート名	シート内容	マニュアル 掲載項
一覧表	内容の一覧表です。 入力するシートではありません。	

9 入力システムの作業フロー



10 入力時の注意事項

入力システムに調査情報を入力する際は、以下に注意して入力してください。

項 目		注意事項
入力欄	入力箇所	<p>調査情報を入力、または選択する入力欄は『黄色』で着色しています。調査情報の入力、または選択をしてください。</p> <p>調査情報を選択する入力欄では、右端にプルダウン(▼)が表示されます。プルダウン(▼)をクリックすると選択するリストが表示されますので、該当する内容を選択してください。</p>
	入力不要箇所	<p>調査情報の入力不要の欄は『緑色』で着色しています。</p> <p>この欄の値は、入力した値の合計が自動的に算出されたもの、または他の入力シートで入力した値が表示されます。</p>
入力調査情報	金 額	<p>『最終積算金額』を入力してください。 発注者が最終契約における予定価格の基礎とした設計書の金額です。</p> <p>『千円単位』で入力してください。「千円未満」は四捨五入してください。(ただし、一部の入力シートでは、円単位で入力する場合があります。)</p> <p>『消費税抜き』の金額で入力してください。(ただし、工事請負金額は消費税込みの金額となります。)</p> <p>該当する費目が無い場合や「0円」の時は、『0』を入力してください。</p>
	数 値	<p>『整数』で入力してください。 小数点以下は四捨五入してください。</p>
	自由回答 (文 字)	<p>入力欄の関係上、入力された文字(内容)が入力欄からはみ出たり、文字が切れて見えなくなる場合があります。 その場合でも、入力された文字(内容)は有効ですので、そのまま入力してください。</p>
	必須入力	<p>必須の入力欄は『※』が表示されています。 『※』が残らないように入力してください。</p>
警告表示	エラー	<p>入力内容に不備がある場合は『E』が表示されます。 また、入力箇所により『エラーのメッセージ』が表示されます。 エラーが表示された場合は、適切な内容を入力、もしくは選択をしてください。</p>

11 入力方法及び入力項目の内容

入力システムの入力方法及び各入力シートの入力項目の内容について説明します。

11-1 「開始画面」シート

入力を進めていく上での簡単な注意事項が書かれています。

入力するシートではありません。

11-2 「工事情報」シート

工事名、請負金額、請負者名等を入力します。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

11-2-1 入力例（工事情報シート）

工事情報	
工事名	〇〇〇〇工事
所管名(1)	2: 国土交通省(港湾)
所管名(2)	102: 関東地方整備局
フリガナ	●●ケンセツ(カブ)
請負業者名	●●建設株
最終工事請負金額(消費税込)	829,590 (単位: 千円)
うち消費税	75,417 (単位: 千円)
【参考】消費税の自動計算値 税率(10%)	75,417 (単位: 千円)
工事請負者選定の工事種別	一般土木
「その他」の場合の記入欄	
当初工事請負金額(消費税込)	797,400 (単位: 千円)
うち消費税	59,066 (単位: 千円)
当初工事価格 (当初工事請負金額-消費税)	738,334 (単位: 千円)
当初積算工事価格	755,500 (単位: 千円)
当初落札率 (当初工事価格/当初積算工事価格)	97.7 %
一般管理費等の前払い金支出割合	35%を超えるもの
契約工期(当初)	(自) 和暦 令和2年2月6日
	(至) 和暦 令和3年1月17日
契約工期(最終)	(至) 和暦 令和3年3月31日
低入札工事の有無	低入札工事以外

黄色塗りつぶし部分: 入力必要箇所
緑色塗りつぶし部分: 黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)
その他の部分: シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。
パスワードが要求される場合の対処方法: 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。

11-2-2 入力項目（工事情報シート）

項目	内容
工事名	調査対象工事の工事名称を入力してください。
所管名(1)	予め設定されています。 (表 1 所管別コードを参照)
所管名(2)	調査対象工事の発注機関（地方整備局等）を選択してください。 (表 2 発注者別コードを参照) 注) 該当するものが無い場合は、『その他：999』を選択してください。
請負業者名	請負契約の受注者名を入力してください。 フリガナを忘れずに振ってください。
最終工事請負金額(消費税込)	最終契約時の工事請負金額（消費税込）を入力してください。
うち消費税	最終工事請負金額のうち、消費税額を入力してください。
【参考】消費税の自動計算値 税率(10%)	『最終工事請負金額(消費税込)』で入力した金額を基に、消費税額(税率10%)が自動算出されます。
工事請負者選定の工事種別	調査対象工事の工事種別を選択してください。 (表 3 工事請負者選定の工種別一覧表を参照)
「その他」の場合の記入欄	工事種別で『その他』を選択した場合は、具体的な内容を入力してください。
当初工事請負金額(消費税込)	当初契約時の工事請負金額（消費税込）を入力してください。
うち消費税	当初工事請負金額のうち、消費税額を入力してください。
当初工事価格 (当初工事請負金額－消費税)	『当初工事請負金額(消費税込)』と『うち消費税』で入力した金額を基に、消費税抜きの『当初工事価格』が自動算出されます。
当初積算工事価格	入札時の積算工事価格（予定価格）を入力してください。 積算工事価格（予定価格）は、消費税抜きの金額です。
当初落札率 (当初工事価格/当初積算工事価格)	『当初工事価格』で自動算出された金額と『当初積算工事価格』で入力した金額を基に、落札率が自動算出されます。
一般管理費等の前払い金支出割合	調査対象工事の積算上における『一般管理費等の前払い金支出割合』を選択してください。 (表 4 前払い金支出割合一覧表を参照)
契約工期(当初) (自) (至)	当初契約時の契約工期（至）を入力してください。
契約工期(最終) (至)	最終契約時の契約工期末を入力してください。 注) 契約工期(至)に変更が無い場合でも、必ず入力してください。
低入札工事の有無	調査対象工事が低入札工事で有ったか否かを選択してください。

表 1 所管別コード

所管名	コード
国土交通省（港湾）	2

表 2 発注者別コード

発注者名	コード	発注者名	コード
東北地方整備局	101	名古屋港管理組合	211
関東地方整備局	102	四日市港管理組合	212
北陸地方整備局	103	境港管理組合	213
中部地方整備局	104	苫小牧港管理組合	214
近畿地方整備局	105	新居浜港務局	215
中国地方整備局	106	東京航空局	216
四国地方整備局	107	大阪航空局	217
九州地方整備局	108	新東京国際空港公団	218
北海道開発局	109	石狩湾新港	219
沖縄総合事務局	110	その他	999

表 3 工事請負者選定の工種別一覧表

工種名	工種名
一般土木工事	電気設備工事
アスファルト舗装工事	通信設備工事
鋼橋上部工事	受変電設備工事
造園工事	暖冷房衛生設備工事
セメント・コンクリート舗装工事	機械設備工事
PC工事	建築工事
法面処理工事	木造建築工事
塗装工事	プレハブ建築工事
維持修繕工事	港湾土木工事
しゅんせつ工事	農林土木工事
グラウト工事	農林建築工事
杭打工事	その他
さく井工事	

表 4 前払い金支出割合一覧表

前払い金支出割合
5%以下
5%を超え 15%以下
15%を超え 25%以下
25%を超え 35%以下
35%を超えるもの

11-3 「一般事項」シート

発注者側記入者、地域特性、工種、施工場所等について入力します。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

11-3-1 入力例（一般事項シート）

工事名	
整理番号	12345
一般事項	
I 発注者側記入者	
メールアドレス	123-456@abc.de.jp
氏名	発注 太郎
役職名	工務係長
事務所名	●●事務所
課名	工務課
TEL	012-345-6789 (例1234-1111-2222)
FAX	012-345-6780 (例1234-1111-3333)
II 一般事項	
地域特性コード	2:重要港湾・地方港湾(1)
工種コード	302:港湾関連工事
施工場所コード	1:一般道路
CORINS登録番号	1111-2222T
設計書コード	88888
発注年度	令和2年度
工事概要	撤去工1式、基礎工250m、堤体工、ケーソン据付15箇、橋脚工250m、被覆工270m、上部工300m
III 施工地域	
都道府県名	013:東京都
市区町村名	港区
IV 共通仮設費率の補正	
施工地域の補正	2:重要港湾・地方港湾(1)(1.5%)
復興係数による補正(岩手県、宮城県、福島県)	2:補正無し
復興係数による補正(熊本県)	3:補正無し
復興係数による補正(広島県)	2:補正無し
海上輸送補正の有無	2:補正なし
補正係数・区分	
V 現場管理費率の補正	
施工地域の補正	2:重要港湾・地方港湾(1)(1.0%)
復興係数による補正(岩手県、宮城県、福島県)	2:補正無し
復興係数による補正(熊本県)	2:補正無し
復興係数による補正(広島県)	2:補正無し
積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合(補正率を入力)	5:補正なし
緊急工事の場合	無し
熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行による補正	2:補正無し
VI 情報共有システム	
情報共有システム使用の有無	無し
VII ICT活用工事	
ICT活用工事	<input checked="" type="checkbox"/> ICT活用工事
VIII 施工箇所在型積算	
施工箇所在型積算の適用	有り
IX 積算方法の試行(入札不揃・不落対策)	
見積り活用	無し
間接費実績変更	無し
地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更	有り
日当り作業量の補正の試行	無し
遠隔地からの建設資材調達に係わる設計変更	無し
X 休日確保評価型試行工事(工期指定)	
休日確保評価型試行工事(工期指定)	無し
XI 改良工事か否かの確認	
港湾施設改良工事の有無	無し
港湾施設改良工事の種類(有りの場合)	
XII 基体2日交替制モデル工事の試行	
週休2日交替制モデル工事の試行工事	無し
<small>黄色塗り部分：入力必要箇所 緑色塗り部分：黄色セルのみに伴う自動計算(入力不可) その他の部分：シートの変更等を行うと、入力不可になっている。 パスワードが要求される場合の対処方法： 入力箇所が開通しているため、指定箇所(黄色塗り部分)に入力して下さい。</small>	

11-3-2 入力項目（一般事項シート）

項目	内容
整理番号	整理番号を入力してください。
I 発注者側記入者	
メールアドレス	入力担当者のメールアドレスを入力してください。
氏名	入力担当者の氏名を入力してください。
役職名	入力担当者の役職名を入力してください。
事務所名	入力担当者の所属する事務所名を入力してください。
課名	入力担当者の所属する課名を入力してください。
TEL	入力担当者の勤務先電話番号を入力してください。
FAX	入力担当者の勤務先 FAX 番号を入力してください。 FAX 番号が無い場合は、『なし』と入力してください。
II 一般事項	
地域特性コード	該当する地域特性を選択してください。 (表5地域特性格別コードを参照) 注) 積算上での共通仮設費率の施工地域・工事場所の補正に準じてください。
工種コード	積算上で共通仮設費の率計算に用いた工種区分を選択してください。 (表 5 工種分類別コードを参照)
施工場所コード	該当する施工場所を選択してください。 (表 6 施工場所別コードを参照)
CORINS 登録番号	CORINS (コリンズ: 工事实績情報システム) 登録番号を入力してください。 該当しない場合は、『なし』と入力してください。
設計書コード	調査対象工事の設計書コードを入力してください。 該当するものが無い場合は、『なし』と入力してください。
発注年度	工事発注年度を選択してください。
工事概要	工事内容が把握できるように入力してください。 (主要工種と概略数量、支給材料名と数量、貸与船舶・機械名と貸与日数等)
III 施工地域	
都道府県名	該当する都道府県名を選択してください。
市区町村名	上記都道府県名を選択後、該当する市区町村名を選択してください。

IV 共通仮設費率の補正																		
施工地域の補正	<p>該当する地域特性を選択してください。 (を参照)</p> <p>注) 積算上での共通仮設費率の施工地域・工事場所の補正に準じてください。 選択した地域特性に該当する補正值または補正係数を選択してください。</p> <p style="text-align: center;">補正值の場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工地域・工事場所区分</th> <th>補正值 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">国際戦略港湾・国際拠点港湾</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">重要港湾・地方港湾 (1)</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">地方港湾 (2)</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地方港湾 (3)</td> <td>工事場所が一般交通等の影響を受ける場合</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>工事場所が一般交通等の影響を受けない場合</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>	施工地域・工事場所区分		補正值 (%)	国際戦略港湾・国際拠点港湾		2.0	重要港湾・地方港湾 (1)		1.5	地方港湾 (2)		1.0	地方港湾 (3)	工事場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.5	工事場所が一般交通等の影響を受けない場合	0.0
施工地域・工事場所区分		補正值 (%)																
国際戦略港湾・国際拠点港湾		2.0																
重要港湾・地方港湾 (1)		1.5																
地方港湾 (2)		1.0																
地方港湾 (3)	工事場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.5																
	工事場所が一般交通等の影響を受けない場合	0.0																
復興係数による補正 (岩手県、宮城県、福島県)	<p>東北三県 (岩手県、宮城県、福島県) において、東日本大震災の復興係数を適用した場合は、『1: 補正有り (×1.5)』を選択してください。 1: 補正有り、係数「1.5」</p>																	
復興係数による補正 (熊本県)	<p>熊本県において、熊本地震の復興係数を適用した場合は、以下から選択してください。 1: 補正有り、係数「1.1」 2: 補正有り、係数「1.4」</p>																	
復興係数による補正 (広島県)	<p>広島県において、広島豪雨の復興係数を適用した場合は、『1; 補正有り (×1.1)』を選択してください。 1: 補正有り、係数「1.1」</p>																	
海上輸送補正の有無	<p>『海上輸送補正』の有無を選択してください。 海上作業がある工事については、労務者及び作業船乗組員等の海上輸送費用として補正值を加算することとなっております。 注) 積算上での共通仮設費率の補正に準じてください。</p>																	
補正係数・区分	<p>上記で『1: 補正有り』を選択した場合は、海上輸送補正係数を以下から選択してください。 1: 係数「0.8」・浚渫工事 2: 係数「0.6」・構造物工事 3: 係数「0.6」・海岸工事 (港湾に関わる海岸) 注) 積算上での共通仮設費率の補正に準じてください。</p>																	

V 現場管理費率の補正

港湾

<p>補正地域・工事場所等を考慮した補正</p>	<p>共通仮設費率の補正の施工地域の補正において選択された施工地域・工事場所区分に対応する補正值が入力されます。</p> <p style="text-align: center;">補正值の場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">施工地域・工事場所分</th> <th style="text-align: center;">補正值 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">国際戦略港湾・国際拠点港湾</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">重要港湾・地方港湾 (1)</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">地方港湾 (2)</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">地方港湾 (3)</td> <td style="text-align: center;">工事場所が一般交通等の影響を受ける場合</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工事場所が一般交通等の影響を受けない場合</td> <td style="text-align: center;">0.0</td> </tr> </tbody> </table>	施工地域・工事場所分		補正值 (%)	国際戦略港湾・国際拠点港湾		1.5	重要港湾・地方港湾 (1)		1.0	地方港湾 (2)		0.5	地方港湾 (3)	工事場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.0	工事場所が一般交通等の影響を受けない場合	0.0
施工地域・工事場所分		補正值 (%)																
国際戦略港湾・国際拠点港湾		1.5																
重要港湾・地方港湾 (1)		1.0																
地方港湾 (2)		0.5																
地方港湾 (3)	工事場所が一般交通等の影響を受ける場合	1.0																
	工事場所が一般交通等の影響を受けない場合	0.0																
<p>復興係数による補正(岩手県、宮城県、福島県)</p>	<p>IV 共通仮設費率の補正『復興係数による補正(岩手県、宮城県、福島県)』の選択より、自動入力されます。 1: 補正有り、係数「1.2」</p>																	
<p>復興係数による補正(熊本県)</p>	<p>IV 共通仮設費率の補正『復興係数による補正(熊本県)』の選択より、自動入力されます。 1: 補正有り、係数「1.1」</p>																	
<p>復興係数による補正(広島県)</p>	<p>共通仮設費の補正『復興係数による補正(広島県)』の選択より、自動入力されます。 1: 補正有り、係数「1.1」</p>																	
<p>積雪寒冷地帯で施工時期が冬期となる場合</p>	<p>補正の有無を選択してください。補正がある場合は、積雪寒冷地帯で施工時期が冬期となる場合の補正係数を以下から選択してください。 1: 補正あり・係数「1.8」 2: 補正あり・係数「1.6」 3: 補正あり・係数「1.4」 4: 補正あり・係数「1.2」 5: 補正無し 注) 積算上での現場管理費率の補正に準じてください。</p>																	
<p>緊急工事の場合</p>	<p>『緊急工事補正』の有無を選択してください。</p>																	
<p>熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行による補正</p>	<p>熱中症対策のための補正の有無を選択してください。</p>																	
<p>VI 情報共有システム</p>																		
<p>情報共有システム使用の有無</p>	<p>情報共有システム使用の有無を選択してください。</p>																	
<p>VII ICT活用工事</p>																		
<p>ICT活用工事</p>	<p>ICT活用工事は「○: ICT活用工事」を選択してください。</p>																	
<p>VIII 施工箇所点在型積算</p>																		
<p>施工箇所点在型積算の適用</p>	<p>施工箇所点在型積算の適用の有無を選択してください。</p>																	
<p>IX 積算方法の試行(入札不調・不落対策)</p>																		
<p>見積り活用</p>	<p>見積り活用の適用の有無を選択してください。</p>																	

港湾

	間接費実績変更	間接費実績変更の有無を選択してください。
	地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更	地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の有無を選択してください。
	日当たり作業量の補正の試行	日当たり作業量の補正の試行の有無を選択してください。
	遠隔地からの建設資材調達に係わる設計変更	遠隔地からの建設資材調達に係わる設計変更の有無を選択してください。
X	休日確保評価型試行工事（工期指定）	
	休日確保評価型試行工事（工期指定）	休日確保評価型試行工事（工期指定）の有無を選択してください。
XI	改良工事か否かの確認	
	港湾施設改良工事の有無	港湾施設改良工事の有無を選択してください。
	港湾施設改良工事の種別（有りの場合）	上記で『有り』を選択した場合は、港湾施設改良工事の種別を以下から選択してください。
XII	週休2日交替制モデル工事の試行	
	週休2日交替制モデル工事の試行工事	週休2日交替制モデル工事の試行の有無を選択してください。

港湾

表 5 工種分類別コード

工種区分	コード	工種内容
港湾浚渫工事		航路、泊地、船溜の浚渫工事、構造物の床掘工事ならびに土取工事及びこれらに類する工事。
	301	1. 浚渫工（ポンプ浚渫）
	302	2. 浚渫工（グラブ浚渫）
	303	3. 浚渫工（その他）
港湾浚渫工事 （維持補修）	304	4. 床掘工
	371	1. 浚渫工（ポンプ浚渫による維持補修工事）
	372	2. 浚渫工（グラブ浚渫による維持補修工事）
港湾構造物工事	373	3. 浚渫工（その他作業船による維持補修工事）
		防波堤、防砂堤、導流堤、岸壁、棧橋、物揚場、係船杭、護岸の構築物に関する工事及びこれらに類する工事。 ただし、浚渫、臨港道路、橋梁、鉄道に関する工事及びこれらに類する工事を除く。
	311	1. 防波堤、防砂堤、導流堤
	312	2. 岸壁、棧橋、物揚場、けい留杭、護岸
港湾構造物工事 （維持補修）	374	1. 維持補修工事（防波堤、防砂堤、導流堤）
	375	2. 維持補修工事（岸壁、棧橋、物揚場、けい留杭、護岸）
海岸工事	313	堤防、突堤、離岸堤、護岸、樋門、水（閘）門、養浜等の構築物に関する工事及びこれらに類する工事
海岸工事 （維持補修）	376	海岸工事のうち維持補修工事
防舷材、電気防食工事 （防舷材、電気防食単独取り付け（取り外し）工事）	314	港湾構造物、海岸工事における、防舷材単独取り付け（取り外し）工事
	315	港湾構造物、海岸工事における、電気防食単独取り付け（取り外し）工事
	316	港湾構造物、海岸工事における、防舷材、電気防食単独取り付け（取り外し）工事
河川・道路構造物工事		河川における構造物工事及び道路における構造物工事にあつて、次に掲げる工事
	381	1. 樋門（管）工、水（閘）門工、サイフォン工、床止（固）工、堰、揚排水機場
	382	2. ロックシェッド（RC 構造）、スノーシェッド（RC 構造）、防音（吸音・遮音）壁工、コンクリート橋、簡易組立橋梁、仮橋・仮棧橋、PC 橋（工場既製桁の場合）等の工事及びこれらの下部・基礎のみの工事
	383	3. 橋梁の下部工、床版工のみの工事
	384	4. 橋梁（鋼橋は除く）の修繕、橋台・橋脚補強工事
	385	5. ゴム伸縮継手（新設）、床版打替工、沓座拡幅工、落橋防止工（RC 構造）、コンクリート橋の支承、高欄設置工（コンクリート、石材等）、旧橋撤去工（鋼橋コンクリート橋上下部）、トンネル内装工（新設トンネル）

表 5 工種分類別コード

工種区分	コード	工種内容
	386	6.1～5 に類する工事 ただし、門扉等の工場製作及び揚排水機場の上屋は除く

表 6 施工場所別コード

施工場所		コード
現道上工事	一般道路	1
	自動車専用道路	2
	自動車専用道路及び鉄道等に近接又は交差する場所	3
上記以外の工事場所（ただし、空港制限区域内工事は除く）		4

11-4

11-4 「工事費」シート

『最終積算金額』の内訳を入力します。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

11-4-1 入力例（工事費シート）

工事名		〇〇〇〇工事	
工事費			
I	工事費内訳	『最終積算金額』を入力して下さい。 注)消費税抜きで記入してください。	金額単位:千円
	費目		積算
①	直接工事費		480,818
	(1) 材料費		250,555
	(2) 支給材料費		0 ※直接工事費には含まない
	(3) 労務費		120,520
	(4) 機械器具等損料		109,109
	(5) 無償貸付機械等評価額		0 ※直接工事費には含まない
	(6) 市場単価		0
	(7) その他		634
	1) 処分費「(7)その他のうち、処分費」		212
②	間接工事費		63,240
	(1) 共通仮設費		50,841
	1) 共通仮設費 (積上げ分)		13,134
	イ 運搬費		2,590
	ロ 準備費		0
	A 準備費		0
	B 処分費		0
	C 3次元起工測量		0
	ハ 事業損失防止施設費		0
	ニ 安全費	1,898	※安全費の内、交通誘導警備員の計上 有り
	A 交通誘導警備員A	30	交通誘導警備員の計上人数 2人
	B 交通誘導警備員B	15	1人
	C 安全監視船	0	
	D 防護管設置費用	0	
	E 安全带(フルハーネス型)	0	
	ホ 役務費	5,387	
	ヘ 技術管理費	395	
	A 3次元出来形測量	0	
	ト 営繕費	2,864	
	A 快適トイレ費用「ト 営繕費」のうち、快適トイレ費用	41	
	チ その他	0	
	2) 共通仮設費の率分	27,407	※総価契約単価合意方式の場合、合意前の額を記入
	3) 現場環境改善費の率分	9,800	※総価契約単価合意方式の場合、合意前の額を記入
	4) 現場環境改善費の積上分	0	
	5) 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用	500	
	(2) 補償費	0	
	(3) 現場管理費	12,399	※総価契約単価合意方式の場合、合意前の額を記入
	うち、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用	1,000	
	(4) 機器間接費	0	
	1) 技術者間接費 (電気通信設備工事の場合)	0	
	2) 機器管理費 (電気通信設備工事の場合)	0	
	(5) 工事の一時中止に伴う増加費用(率項目+積上げ項目)	0	
③	一般管理費等		79,534
④	鋼格等工場製作費 (電気通信設備工事の場合は、機器単体費)		0
⑤	別途調査等工事価格		0
⑥	別途調査等工事価格 (ICT活用試行工事の測量業務価格)		0
⑦	工事価格		623,592
共通仮設費積算対象金額			480,818
共通仮設費積算対象金額(自動計算値)			480,818

※共通仮設費積算対象金額の自動計算値は、下記により算出しています。
 「①直接工事費」+「(2)支給材料費」+「(5)無償貸付機械等評価額」+「ハ事業損失防止施設費」
 +「ロ準備費B処分費」-「共通仮設費の対象額に含めない費用」
 入力した金額と自動計算値にひらきがある場合、上記の各金額を確認してください。

II 共通仮設費の対象額に含まない費用内訳		
管理費区分	概要	
1	現場管理費、一般管理費のみ対象とする場合	
2	工場管理費・一般管理費のみ対象とし、間接労務費の対象にしない場合（鋼材、門扉等の工場製作に關わる製作工数単位以外の費用）	
5	一般管理費のみ対象にする場合	
7	間接労務費、工場管理費、一般管理費のみ対象にする場合（製作工数に關わるもの）	
8	技術者間接費対象労務費	
9	全ての間接費の対象にしない場合	
T	処分費等に対象にする場合	
共通仮設費の対象に含まない品目		
品目	金額(千円)	管理費区分
1 簡易格立式構架の購入費	0	
2 PC板の購入費	0	
3 門扉の購入費	0	
4 ホシプの購入費	0	
5 グレーチング床板の購入費	0	
6 処分費等(3%または3000万円を超える額)	0	
7 その他	0	
その他の場合の具体的な内容を入力		0
合計		0

III 技術管理費	
技術管理費(繰上げ分)に費用計上がある場合は内訳を入力してください。	
技術管理費(繰上げ分)	
「へ技術管理費」に入力されている金額	205
内訳合計の金額	205
技術管理費(繰上げ)の内訳	金額(千円)
1 操縦費助向調査	30
2 平板載荷試験費	125
3 情報共有システム(ASPのみ)	50
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

黄色塗りつぶし部分: 入力必要箇所
 緑色塗りつぶし部分: 黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)
 その他の部分: シートの書式等を除く。入力不可としている。
 パスワードが要求される場合の対処方法:
 入力箇所が間違っているため、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。

11-4-2 入力項目（工事費シート）

項目	内容
①直接工事費	<p>『最終積算金額』における直接工事費の合計額を入力してください。</p> <p>注1) 入力した金額が、直接工事費の内訳合計額（『(1) 材料費』、『(3) 労務費』、『(4) 機械器具等損料』、『(6) 市場単価』及び『(7) その他』の合計）と一致することを確認してください。</p> <p>ただし、『(2) 支給材料費』及び『(5) 無償貸付機械等評価額』、『(8) 施工パッケージ型積算方式』は含みません。</p> <p>入力した金額が、上記の内訳合計額と一致しない場合はエラーが表示されます。</p> <p>注2) 複合単価で積算している場合は、労務費、材料費、機械器具損料等に分解して、それぞれに入力してください。</p> <p>注3) 積算システムから出力出来る集計リスト（機・労・材リスト）の合計金額と、調査票入力の前記直接工事費の合計金額が合わない場合は、集計リスト（機・労・材リスト）の金額に、共通仮設費（積上げ分）、鋼橋等工場製作費及び別途調査等工事価格が含まれている場合がありますので、それらを控除した金額を計上してください。</p>
(1) 材料費	<p>『最終積算金額』における材料費の合計額を入力してください。</p> <p>注) 『鋼橋等工場製作物』及び『電気通信設備工事における機器』の輸送費（製作工場所在地から工事現場までの運搬費）は、材料費に計上してください。</p>
(2) 支給材料費	<p>『最終積算金額』における支給品費の合計額を入力してください。</p> <p>支給材料費は、発注者が請負者に支給した工事の施工に必要な材料費（水道光熱電力料を含む）です。</p> <p>注) 当該費用は直接工事費には含まれません。</p>
(3) 労務費	<p>『最終積算金額』における労務費の合計額を入力してください。</p>
(4) 機械器具等損料	<p>『最終積算金額』における機械経費の合計額を入力してください。</p>
(5) 無償貸付機械等評価額	<p>『最終積算金額』における無償貸付機械等評価額の合計額を入力してください。</p> <p>注) 当該費用は直接工事費には含まれません。</p>
(6) 市場単価	<p>『最終積算金額』における市場単価の合計額を入力してください。</p> <p>市場単価とは、物価調査機関が資材費、労務費及び機械経費を含む施工単位当たりの市場での取引価格を調査し公表している単価であり、市場単価方式により算出した金額です。</p>
(7) その他	<p>『最終積算金額』における直接工事費のうち、「(1)～(6)」以外の合計額を入力してください。</p> <p>例) 処分費（産業廃棄物税を含む）、特許使用料、水道光熱電力料、有料道路利用料等</p>
1) 処分費 (7) その他のうち、処分費)	<p>上記『(7) その他』のうち、処分費（産業廃棄物税を含む）の合計額を入力してください。</p>

項目	内容
②間接工事費	『(1) 共通仮設費』、『(2) 補償費』、『(3) 現場管理費』及び『(4) 機器間接費（電気通信設備工事の場合）』の合計額が自動算出されます。
(1) 共通仮設費	『1) 共通仮設費（積上げ分）』、『2) 共通仮設費の率分』、『3) 現場環境改善経費の率分』及び『4) 現場環境改善経費の積上分』の合計額が自動算出されます。
1) 共通仮設費（積上げ分）	以下「イ」～「チ」の合計額が自動算出されます。
イ 運搬費	<p>『最終積算金額』における運搬費（積上げ分）のうち、次にあげる費用の合計額を入力してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 2. 仮設材（鋼矢板、H 形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬 ただし、敷鉄板については設置撤去費用を積上げた分を対象とします。 3. 重建設機械の分解、組立及び輸送に要する費用 ただし、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 20t～50t 吊）・ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型 20t～70t 吊）は除く。 4. 賃料適用のトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 80t 吊以上）及びクローラクレーン（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 35 t 吊以上）の分解組立時にかかる本体賃料及び運搬中の本体賃料 5. 上記に掲げるもののほか、工事施工上必要な建設機械器具の運搬に要する費用
ロ 準備費	次の「A 及び B」の合計額が自動算出されます。
A 準備費	『最終積算金額』における準備費（積上げ分）のうち、次に掲げる費用の合計額を入力してください。 ・工事施工上必要な準備作業に要する費用
B 処分費	『最終積算金額』における準備費（積上げ分）のうち、次に掲げる費用の合計額を入力してください。 ・伐開、除根、除草等に伴い発生する建設副産物等を工事現場外に搬出する運搬及び処分に要する費用
C 3次元起工測量	『最終積算金額』における準備費のうち、 ICT 浚渫工事の際に要した 3次元起工測量の費用の合計額 を入力してください。
ハ 事業損失防止施設費	<p>『最終積算金額』における事業損失防止施設費のうち、次にあげる費用の合計額を入力してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工事施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等起因する事業損失を、未然に防止するための仮施設の設置費、撤去費及び当該仮施設の維持管理等に要する費用 2. 事業損失を未然に防止するために必要な調査等に要する費用

項目	内容
ニ 安全費	<p>『最終積算金額』における安全費のうち、次にあげる費用の合計額を入力してください。</p> <p>注) 1 に関しては、費用の内訳及び計上人数、2、3 に関しては、費用の内訳も入力してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 交通誘導警備員及び機械の誘導員等の交通管理に要する費用 注) 準備作業に伴い発生する交通誘導警備員の費用も含まれます。 2. 工事水域の見廻り等の安全監視船に要する費用 3. 防護管設置に要する費用 4. 安全帯（フルハーネス型）に要する費用 5. 高圧作業の予防に要する費用 6. 海上工事における灯浮標・標識灯の設置・撤去・維持管理に要する費用及び使用期間中の損料（ただし、設置・撤去・維持管理等の工事のみを別途単独で発注する場合は、直接工事費とする。） 7. 水雷等の存在する危険区域における地中及び海中の危険物等の撤去に要する費用 8. <u>危険区域等で工事を施工する場合の水雷・傷害保険料</u> 9. その他、工事施工上必要な安全対策等に要する費用 10. 安全費の内、交通誘導警備員の計上の有無を右側のプルダウンリストより選択して下さい。
ホ 役務費	『最終積算金額』における役務費の合計額を入力してください。
へ 技術管理費	『最終積算金額』における技術管理費（積上げ分）の合計額を入力してください。
A 3次元出来形測量	『最終積算金額』における技術管理費のうち、 ICT 浚渫工事にて3次元出来形測量に要した費用の合計額 を入力してください。
<p>【技術管理費に関する調査】</p> <p>『へ 技術管理費』に費用計上がある場合は、『内訳』及び『金額』を必ず入力してください。</p> <p>入力した内訳の合計金額が、『へ 技術管理費』の金額と一致することを確認してください。</p>	
ト 営繕費	『最終積算金額』における営繕費（積上げ分）の合計額を入力してください。
A 快適トイレ費用	「ト 営繕費」のうち、快適トイレ費用を入力してください。
チ その他	『最終積算金額』における共通仮設費（積上げ分）のうち、「イ」～「ト」以外の費用の合計額を入力してください。
2) 共通仮設費の率分	『最終積算金額』における共通仮設費（率計上分）の金額を入力してください。
3) 現場環境改善費の率分	『最終積算金額』における標準的な現場環境改善費の率計上分の金額を入力してください。
4) 現場環境改善費の積上分	『最終積算金額』における特別な現場環境改善費の金額を入力してください。
5) 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用	共通仮設費における新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用を入力してください。

項目	内容
(2) 補償費	『最終積算金額』における補償費の金額を入力してください。工事施工に伴い、避けられない下記のような物件等の補償です。 例) 家屋の損壊補償、沈下補償、濁水補償、井戸の枯渇補償、等
(3) 現場管理費	『最終積算金額』における現場管理費の金額を入力してください。
うち、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用	現場管理費のうち、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用を入力してください。
(4) 機器間接費 (電気通信設備工事の場合)	次の「1) 及び 2)」の合計額が自動算出されます。
1) 技術者間接費	『最終積算金額』における技術者間接費の金額を入力してください。技術者間接費は、機器の調整及びシステム・インテグレーションのために製作工場等から派遣される技術者等に対する、製作工場等に係る経費です。
2) 機器管理費	『最終積算金額』における機器管理費の金額を入力してください。機器管理費は、工事施工にあたって機器の調達、機器の施工現場での適切な管理等に要する経費です。
(5) 工事一時中止に伴う増加費用 (率項目+積上げ項目)	工事一時中止に伴い増加する費用 (率項目+積上げ項目) を入力してください。
③一般管理費等	『最終積算金額』における一般管理費等の金額を入力してください。
④鋼橋等工場製作費 (電気通信設備工事の場合は、機器単体費)	『最終積算金額』における鋼橋等工場製作費 (電気通信設備工事の場合は、機器単体費) の金額を入力してください。 注 1) 『鋼橋等工場製作費』とは、鋼桁、門扉、ポンプ等の当該工場製作にかかる費用で、直接工事費、間接労務費及び工場管理費で構成される工場製作原価です。 注 2) 『電気通信設備工事の機器単体費』とは、当該機器の製作工場等で機能、性能の確認 (品質証明等を含む) がなされて調達されるもので、施工現場においては加工等を必要しない機器の費用で、直接製作費、間接労務費、工場管理費及び一般管理費等で構成されます。 注 3) 本項目に積算計上がある場合は、 元請者の実績額計上が必要となります。 実績額計上の必要性を元請者に伝えると共に、調査票 (元請者用) の『工事費』シート内『鋼橋等工場製作費 (電気通信設備工事の場合は、機器単体費)』の項目に、費用計上があることを確認してください。
⑤別途調査等工事価格	『最終積算金額』における別途調査等工事価格の金額を入力してください。 注 1) 『別途調査等工事価格』とは、土木工事と併せて「調査・設計業務等」が発注された場合の費用で、諸経費等を含んで一括計上している費用です。 例) 地質調査、構造物詳細設計、爆弾探査工事等 注 2) 本項目に積算計上がある場合は、元請者の実績額計上が必要となります。実績額計上の必要性を元請者に伝えると共に、調査票 (元請者用) の『工事費』シート内『別途調査等工事価格』の項目に、費用計上があるか確認してください。

項目	内容
⑥別途調査等工事価格 (ICT 活用試行工事の測量業務価格)	『最終積算金額』における ICT 試行活用工事の測量業務価格 の金額を入力してください。
⑦工事価格	「①+②+③+④+⑤+⑥」の合計額が自動算出されます。 『最終積算金額』の工事価格と一致することを確認してください。
共通仮設費積算対象金額	『最終積算金額』における共通仮設費積算対象金額を入力してください。 注1) 共通仮設費の非対象金額を除いた金額を入力してください。 注2) 共通仮設費の非対象金額がある場合は、その費用内訳を「共通仮設費の対象額に含めない費用内訳」の項目に入力してください。
共通仮設費積算対象金額 (自動計算値)	入力した各項目の金額を基に、共通仮設費積算対象金額が自動算出されます。 上記の『共通仮設費積算対象金額』の項目で入力した金額と一致することを確認してください。 注) 自動計算値は、下記により算出しています。 『共通仮設費積算対象金額 (自動計算値)』 = 『①直接工事費』+ 『(2) 支給材料費』+ 『(5) 無償貸付機械等評価額』+ 『ハ 事業損失防止施設費』+ 『ロ 準備費 B 処分費』- 『共通仮設費の対象額に含めない費用』
共通仮設費の対象額に含めない費用内訳	『最終積算金額』において、 積算上で用いた『共通仮設費の対象額に含めない費用』がある場合は、共通仮設費の対象に含めない品目(表7 共通仮設費の対象に含めない品目を参照)のうち、該当する品目の金額及び管理費区分(表8 管理費区分を参照)を入力してください。 注) 共通仮設費の対象額に含めない費用で、『共通仮設費の対象に含めない品目』に該当する品目が無い場合は、「40. その他」の項目に入力してください。 例) 「〇〇」の材料費、等
技術管理費	『技術管理費(積上げ分)に費用計上がある場合は内訳を入力してください。
「へ. 技術管理費」に入力されている金額	②間接工事費(1) 共通仮設費へ. 技術管理費の金額が自動入力されます。
内訳合計の金額	下記、技術管理費(積上げ)の内訳の合計が自動算出されます。 入力した内訳の合計金額が、『へ 技術管理費』の金額と一致することを確認してください。
技術管理費(積上げ)の内訳	技術管理費(積上げ分)に費用計上がある場合は、その内容と金額を入力してください。

表 7 共通仮設費の対象に含めない品目

番号	品目名
1	簡易組立式橋梁の購入費
2	P C 桁の購入費
3	門扉の購入費
4	ポンプの購入費
5	グレーチング床版の購入費
6	処分費等（3%または 3000 万円を超える額）
7	その他 注）その他の場合は、具体的な内容を入力。

表 8 管理費区分

番号	区 分
1	現場管理費・一般管理費のみ対象とする場合
2	工場管理費・一般管理費のみ対象とし、間接労務費の対象にしない場合（鋼桁、門扉等の工場製作に関わる製作工数単価以外の費用）
5	一般管理費のみ対象にする場合
7	間接労務費、工場管理費、一般管理費のみ対象にする場合（製作工数に関わるもの）
8	技術者間接費対象労務費
9	全ての間接費の対象にしない場合
T	処分費等の対象にする場合

11-5 「工期」シート

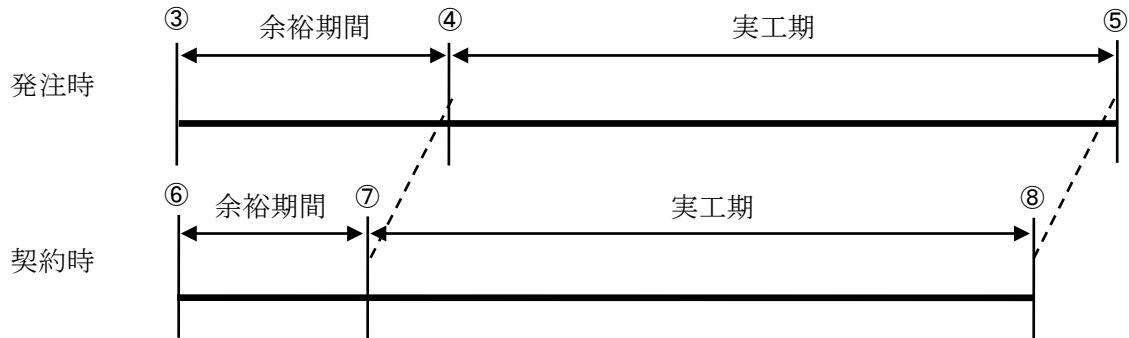
工期に関して入力します。

余裕期間についての調査票

余裕期間について入力します。

注1) 余裕期間の方式によって、工期（発注時）、実工期の入力が変わります。

注2) 発注者指定方式は、発注時、契約時共に同じ日付を入力してください。



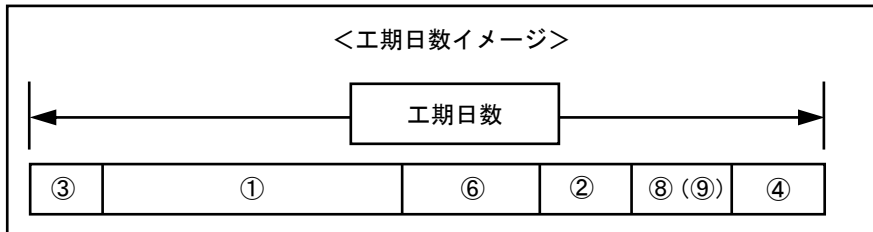
工期についての調査票

工期について入力します。

設定作業日数、作業不能日数・不能要因、設定休日数等を入力します。

注) 工期日数が下記となるように各項目に入力してください。

$$\begin{aligned} \text{工期日数} = & \text{①設定作業日数} + \text{②設定作業不能日数} + \text{③設定準備期間日数} \\ & + \text{④設定後片付け期間日数} + \text{⑥設定休日数} \\ & + \text{⑧全面中止日数 (⑨部分中止日数)} \end{aligned}$$



以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

11-5-1 入力例（工期シート）

工事名	〇〇〇〇工事
-----	--------

余裕期間についての調査票

① 余裕期間の有無	YES
② 余裕期間の方法	発注者指定方式
③ 工期(発注時)契約工期の始期	令和2年 6月 13日
④ 工期(発注時)実工期の始期	令和2年 7月 10日
⑤ 工期(発注時)の終期	令和3年 1月 28日
⑥ 工期(契約時)契約工期の始期	令和2年 6月 13日
⑦ 工期(契約時)実工期の始期	令和2年 6月 30日
⑧ 工期(契約時)の終期	令和3年 1月 12日

工期についての調査票

① 設定作業日数	200日
② 設定作業不能日数	41日
③ 設定準備期間日数	40日
④ 設定後片付け期間日数	20日
⑤ 想定した作業不能の要因	
a. 該当するものを選択して下さい。 下記より理由を選択しリストで入力 (複数回答可) 1. 降雨 2. 降雪 3. 風 4. 波浪 5. その他	降雨
b. その他の内容を具体的にお書き下さい。	:
⑥ 設定休日数	117日
⑦ 休日の内訳	
a. 土曜日・日曜日の設定休日数 (4週)	108日 8日(休日で工期設定)
b. 祝日休の設定休日数 (この内日曜日・土曜日の日数)	10日 3日
c. 年末年始の設定休日数 (この内日曜日・土曜日・祝日休の日数)	7日 5日
d. ゴールデンウィークの設定休日数 (この内日曜日・土曜日・祝日休の日数)	0日 0日
e. 夏休みの設定休日数 (この内日曜日・土曜日・祝日休の日数)	0日 0日
f. その他 (具体的内容 入力不要:) (この内日曜日・土曜日・祝日休の日数)	0日 0日
⑧ 全面中止日数	0日
⑨ 部分中止日数	0日

*** 日数入力箇所には該当がない場合は0を入力してください。**

黄色塗りつぶし部分: 入力必要箇所

緑色塗りつぶし部分: 黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)

その他の部分: シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。

パスワードが要求される場合の対処方法:

入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。

11-5-2 余裕期間に関する入力項目（工期シート）

項目	内容
①余裕期間の有無	『余裕期間』の有無を選択してください。 注1) 『YES』を選択した場合は、『余裕期間の方法』、『工期（発注時）』、『工期（契約時）』を入力してください。 注2) 『No』を選択した場合は、以下②～⑧は入力不要です。 注3) 『YES』を選択した場合は、『工期に関する入力項目』での③設定準備期間日数は入力しないでください。
②余裕期間の方法	該当する余裕期間の方法を選択してください。
③工期（発注時） 契約工期の始期	発注時点での契約工期の始期の日付を入力してください。
④工期（発注時） 実工期の始期	発注時点での実工期の始期の日付を入力してください。
⑤工期（発注時）の終期	発注時点での終期の日付を入力してください。
⑥工期（契約時） 契約工期の始期	契約時点での契約工期の始期の日付を入力してください。
⑦工期（契約時） 実工期の始期	契約時点での実工期の始期の日付を入力してください。
⑧工期（契約時）の終期	契約時点での終期の日付を入力してください。

11-5-3 工期に関する入力項目（工期シート）

項目	内容
①設定作業日数	工期中の必要作業日数を入力してください。
②設定作業不能日数	工期中の水文、気象、地形、地質等の自然条件による作業不能日数を入力してください。
③設定準備期間日数	工期中の準備に要する日数を入力してください。
④設定後片付け期間日数	工事後の片付けに要する日数を入力してください。
⑤設定した作業不能の 要因	該当する作業不能要因を選択してください。 （複数回答可） 注1) 『5. その他』を選択した場合は、具体的な内容を入力してください。 注2) 複数回答の場合は、回答が重複しないように、上から順につめて選択してください。
⑥設定休日数	『⑥休日の内訳』から考えられる休日数が自動算出されます。 『⑤設定休日数』 = 『a. 土曜日曜日の設定休日数』 + (『b. 祝日休の設定休日数』 - 『b. の内の土日休の日数』) + (『c. ～f. の設定休日数合計』 - 『c. ～f. の内の土日祝日休の日数』)

港湾

項目	内容
⑦休日の内訳	工期中の休日の内訳を、下記の『a.～f.』の項目に入力してください。
a. 土曜日曜休 の設定休日数	工期中における土曜、または日曜の設定休日数を入力してください。また、4週あたりにおける土曜、日曜休日の設定日数を入力してください。
b. 祝日休 の設定休日数	工期中における祝祭日の設定休日数を入力してください。また、祝祭日数のうち、土曜、または日曜の休日数を入力してください。
c. 年末年始 の設定休日数	工期中における年末年始の設定休日数を入力してください。また、当該設定休日数のうち、土曜、日曜、祝祭日の休日数を入力してください。 工期中における当該設定休日数が無い場合は、『0』を入力してください。
d. ゴールデン ウィーク の設定休日数	工期中におけるゴールデンウィークの設定休日数を入力してください。また、当該設定休日数のうち、土曜、日曜、祝祭日の休日数を入力してください。 工期中における当該設定休日数が無い場合は、『0』を入力してください。
e. 夏休み の設定休日数	工期中における夏休みの設定休日数を入力してください。また、当該設定休日数のうち、土曜、日曜、祝祭日の休日数を入力してください。 工期中における当該設定休日数が無い場合は、『0』を入力してください。
f. その他	上記『a.～e.』以外に設定休日数がある場合は、休日数及び具体的内容を入力してください。また、当該設定休日数のうち、土曜、日曜、祝祭日の休日数を入力してください。 工期中における当該設定休日数が無い場合は、『0』を入力してください。 注1) 当該設定休日数を『0』とした場合は、具体的内容への入力は不要です。 注2) 当該設定休日数がある場合のみ具体的内容を入力してください。
⑧全面中止日数	工期中の全面中止日数を入力してください。なお、中止日数には休日を含めて入力してください。 注) 全面中止日数が無い場合は、『0』を入力してください。
⑨部分中止日数	工期中の部分中止日数を入力してください。なお、中止日数には休日を含めて入力してください。 注) 部分中止日数が無い場合は、『0』を入力してください。

11-6 「施工環境」シート

施工環境に関して入力します。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

11-6-1 入力例（施工環境シート）

工事名		〇〇〇〇工事	
施工環境調査票			
区分		YES / NO	
1	積雪寒冷地であった。 YESの場合: 冬期の施工期間 () (日) 積算に用いた冬期補正率 () (%)	NO	
2	工事場所が現道上、あるいは現道の前で、交通規制を伴う一般交通の影響を受けた。 YESの場合: 車線の形態 4車線 供用形態 2/4車線 日交通量(最新センサデータ) 30,000 日/台 交通量調査基本区間番号(センサ番号)11所 1123344559 下記より理由を選択し/以て入力 (複数回答可) 理由1: 片側交互通行規制 理由2: 車線規制 理由3: 理由3: 理由4: 理由4: 理由5: 理由5: 理由6: 理由6: 1. 全車通行止め(常時) 2. 全車通行止め(一時) 理由3: 3. 片側交互通行規制 4. 車線規制 理由4: 5. 路肩規制 6. 歩道規制 理由5: 理由6:	YES	
3	工事現場の50m以内に人家(民家、商店、ビル等)が建っている所があった。	YES	
4	地下埋設物の調査、移設、切り直し作業があった。 YESの場合: 作業日数 () (日)	NO	
5	地元説明が何度も必要であった。 YESの場合: 説明回数 () (回)	NO	
6	他官庁(警察・道路管理者等)他企業(NTT、電力会社等)との協議事項があり一般工事とはべ異なる作業が多い工事であった。 YESの場合: 理由を入力 () ()	NO	
7	契約日から着手指定日まで30日以上あった。 YESの場合: 実日数 () (日) 下記より理由を選択し/以て入力 (複数回答可) 理由1: 理由1: 理由2: 理由2: 理由3: 理由3: 理由4: 理由4: 理由5: 理由5: 理由6: 理由6: 1. 占用許可 2. 使用許可 理由3: 3. 用地取得 4. 地元説明 理由4: 5. 概算概略費注 6. その他 理由5: (その他の所: 設計成果の遅延及び事前調査不足による) 理由6: その他の場合入力 () ()	NO	
8	工事中止命令があった。 YESの場合: 工事中止命令に伴う工期延滞日数 () (日) YESの場合: 理由を入力 () () 積算に用いた一時中止に伴い増加する現場経費率 () (%)	NO	
9	緊急工事 YESの場合: 理由を入力 () () 積算に用いた緊急時補正率 () (%)	NO	
10	作業時間に時間的制約があった。(積算上、補正率増しを行った。) YESの場合: 作業制約時間 4時間/日以上~7時間/日以下 その他の場合入力 () ()	YES	
11	熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行による補正割増しを行った。 「補正有り」の場合: 工期期間中の真夏日 () (日) 「補正有り」の場合: 工期期間中夜間高温日数 () (日) 「補正有り」の場合: 積算に用いた熱中症対策補正率 () (%)	2: 補正無し	
12	砂防堤堤高さ(基礎地盤から堤頂まで)が20m以上であった。 (砂防工事以外の場合は、「NO」を選択してください。) YESの場合: 砂防堤堤高さを入力 () (m) 積算に用いた現場管理費補正率 () (%)	NO	
13	1つの現場(施工箇所)を工区分けした施工をした。 YESの場合: 工区分けを入力 () (箇所) 工区分けが必要だった理由 () ()	NO	
14	使用中の施設(岸壁)での工事 YESの場合: 施設(岸壁)名を入力 () ()	NO	
15	入出港、離接岸する船舶により進退を要する工事	NO	
16	週休2日交替制モデル工事の試行工事 試行工事対象期間 1回目 試行工事の対象期間(始) () (年) () (月) () (日) 試行工事の対象期間(終) () (年) () (月) () (日) 「有り」の場合: 工期期間中の休日率 () (%) 積算に用いた労務費補正係数 () () 試行工事対象期間 2回目 試行工事の対象期間(始) () (年) () (月) () (日) 試行工事の対象期間(終) () (年) () (月) () (日) 「有り」の場合: 工期期間中の休日率 () (%) 積算に用いた労務費補正係数 () () 試行工事対象期間 3回目 試行工事の対象期間(始) () (年) () (月) () (日) 試行工事の対象期間(終) () (年) () (月) () (日) 「有り」の場合: 工期期間中の休日率 () (%) 積算に用いた労務費補正係数 () ()	無し	
<p>黄色塗りつぶし部分: 入力必要箇所 緑色塗りつぶし部分: 黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可) その他の部分: シートの書換等を防ぐため、入力不可にしている。 ※バーストが要求される場合の対処方法: 入力箇所が関連しているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。</p>			

11-6-2 入力項目（施工環境シート）

項目	内容
1. 積雪寒冷地	<p>『積雪寒冷地』の適否を選択してください。 なお、積雪寒冷地とは、人事院規則に規定される寒冷地手当を支給する地域です。 注1) 『YES』を選択した場合は、冬期の施工期間（日数）を入力してください。 注2) 『YES』を選択した場合は、積算に用いた冬季補正率（%）を入力してください。 また、冬季期間による補正を適用しなかった場合は、『0』を入力してください。</p>
2. 一般交通の影響	<p>『工事場所が現道上、あるいは現道の側で、交通規制を伴う一般交通の影響』の有無を選択してください。 注1) 『YES』を選択した場合は、『車線の形態』、『供用形態』及び『車線規制方法』を入力してください。 注2) 『YES』を選択した場合、『日交通量（最新センサスデータ）』の入力は必須ではありません。可能な場合のみ入力してください。 注3) 『交通量調査基本区間番号（センサス番号）11桁』の入力は必須ではありません。可能な場合のみ入力してください。 注4) 車線規制方法を該当する理由を選択してください。 注5) 上記の理由を複数回答する場合は、回答が重複しないように、上から順につめて選択してください。</p>
3. 人家の影響	<p>『工事現場の50m以内において、人家（民家、商店、ビル等）の連なる箇所』の有無を選択してください。</p>
4. 地下埋設物の作業	<p>『地下埋設物の調査、移設、切り回し作業』の有無を選択してください。 注) 『YES』を選択した場合は、作業日数を入力してください。</p>
5. 地元説明	<p>『地元説明が何度も必要であった』の適否を選択してください。 注) 『YES』を選択した場合は、説明回数を入力してください。</p>
6. 協議による社員の拘束	<p>『他官庁（警察、道路管理者等）、他企業（NTT、電力会社等）との協議事項があり、一般工事に比べ、社員の拘束が多い工事であった』の適否を選択してください。 注) 『YES』を選択した場合は、その理由を入力してください。</p>
7. 着手指定日までの日数	<p>『契約日から着手指定日まで30日以上あった』の適否を選択してください。 注1) 『YES』を選択した場合は、『30日以上の実日数』を入力し、該当する理由を選択してください。（複数回答可） 注2) 上記の理由で『6. その他』を選択した場合は、具体的な内容を入力してください。 注3) 上記の理由を複数回答する場合は、回答が重複しないように、上から順につめて選択してください。</p>

港湾

項目	内容
8. 工事中止命令	<p>『工事一時中止命令』の有無を選択してください。</p> <p>注1) 『YES』を選択した場合は、工事中止命令に伴う工期延期日数及び中止理由を入力してください。</p> <p>また、工事中止命令に伴う工期延期が無かった場合は、『0』を入力してください。</p> <p>注2) 『YES』を選択した場合は、積算に用いた一時中止に伴い増加する現場経費率(%)を入力してください。</p> <p>また、一時中止に伴い増加する現場経費率を適用しなかった場合は、『0』を入力してください。</p>
9. 緊急工事	<p>『緊急工事』の適否を選択してください。</p> <p>注1) 『YES』を選択した場合は、その理由を入力してください。</p> <p>注2) 『YES』を選択した場合は、積算に用いた緊急工事補正率(%)を入力してください。</p> <p>また、緊急工事による補正を適用しなかった場合は、『0』を入力してください。</p>
10. 時間的制約	<p>『作業時間帯の時間的制約(積算上の補正割増し)』の有無を選択してください。</p> <p>注1) 『YES』を選択した場合は、作業制約時間を以下から選択してください。</p> <p>1: 4時間/日未満 2: 4時間/日以上~7時間/日以下 3: 7時間を超え7.5時間/日以下 4: その他</p> <p>注2) 『4: その他』を選択した場合は、具体的な内容を入力してください。</p>
11. 熱中症対策	<p>「一般事項」シートで『熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行による補正』の『補正有り』を選択した場合に回答してください。</p> <p>注1) 『補正有り』の場合は、工期期間中の真夏日を入力してください。</p> <p>注2) 『補正有り』の場合は、工期期間日数を入力してください。</p> <p>注3) 『補正有り』の場合は、積算に用いた熱中症対策補正率を入力してください。</p>
12. 砂防堰堤高さ	<p>『砂防堰堤の高さ(基礎地盤から堤頂まで)が20m以上』の有無を選択してください。</p> <p>注1) 該当しない工事は、『NO』を選択してください。</p> <p>注2) 『YES』を選択した場合は、砂防堰堤高さを入力してください。</p> <p>注3) 『YES』を選択した場合は、積算に用いた現場管理費補正率(%)を入力してください。</p>
13. 工区分け	<p>『1つの現場(施工箇所)を工区分けした施工をした』の適否を選択してください。</p> <p>注) 『YES』を選択した場合は、工区数及び工区分けが必要だった理由を入力してください。</p>
14. 供用中の施設(岸壁)	<p>『供用中の施設(岸壁)での工事』の適否を選択してください。</p> <p>注) 『YES』を選択した場合は、施設(岸壁)名を入力してください。</p>
15. 入出港、離接岸する先般による退避	<p>『入出港、離接岸する船舶により退避を要する工事』の適否を選択してください。</p>

港湾

項 目	内 容
16. 週休2日交替制モデル工事の試行工事	<p>『週休2日交替制モデル工事の試行工事』のりとした場合に回答してください。</p> <p>注1)『有り』の場合は、試行工事の対象期間（始、終）を入力してください。</p> <p>注2)『有り』の場合は、工期期間中の休日率（%）を入力してください。</p> <p>注3)『有り』の場合は、積算に用いた労務費補正係数を入力してください。</p>

11-7 「二次製品」シート

諸経費率に影響を与えていると考えられる二次製品に関して入力します。

注)『諸経費率に影響を与えていると考えられる二次製品』が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

11-7-1 入力例 (二次製品シート)

工事名	○○○○工事						
<p>直接工事費内訳及び諸経費率式に影響を与えていると考えられる二次製品等に関する調査</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="font-size: small;">黄色塗りつぶし部分: 入力必要箇所 緑色塗りつぶし部分: 黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可) その他の部分: シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。 パスワードが要求される場合の対処方法: 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。</p> </div>							
<p>下記対象品目に要した材料費</p> <p>1. 当該二次製品材料費</p> <p>なお、支給材料費についてもご入力願います。 (入力対象品目)以下に該当する品目について入力</p> <p>一般二次製品</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ① 大型ゴム支承 ② 遮音壁 ③ 共同溝工事において使用している、またはそれに類する大型のプレキャスト・ボックスカルバート ④ モニュメント ⑤ デザイン高欄 ⑥ デザイン照明ポール </div> <div style="width: 45%;"> <p>国土交通省港湾局より指定された品目</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 鋼管杭、鋼管矢板 ⑧ 防舷材 ⑨ 汚濁防止膜 ⑩ アルミ陽極 ⑪ その他(上記リスト以外は、品目欄の右に入力してください。) </div> </div>		項目②					
		入力の確認					
		『工事費』シートの『材料費』	153,740				
		当該二次製品材料費の合計	10,280				
理由回答欄							
当該二次製品材料費							
確認欄	品目	規格	単位	数量	単価(円)	金額(千円) (数量×単価)	適用 〔下記より該当する項目を選択して下さい〕 1.購入品 2.リース 3.支給品 4.貸与品目
1	防舷材	500 × 500 × 3PCS	基	2	5,140,000	10,280	1 購入品
2						0	入力不要
3						0	入力不要
項目①							

11-7-2 入力項目（二次製品シート）

項目	内容
①	<p>調査対象工事の『①直接工事費（1）材料費』のうち、『諸経費率に影響を与えていると考えられる二次製品がある場合』は、該当する品目について入力してください。</p> <p>注1）当該二次製品の品目は、『品目番号』から選択してください。</p> <p>注2）『品目番号』で『その他』を選択した場合は、具体的な品目名を入力してください。</p> <p>注3）当該二次製品の『単価』は、『円単位』で入力してください。『単価』及び『数量』を入力後、当該二次製品の材料費が『千円単位』で自動算出されます。</p>
②	<p>当該二次製品の材料費の合計金額が、『①直接工事費（1）材料費』に入力した金額以内であることを確認する項目です。</p> <p>注）当該二次製品材料費の合計金額が、『工事費』シートの『①直接工事費（1）材料費』より大きくなっている場合は、『エラー』が表示されます。</p> <p>その場合は、入力した金額（内容）に間違いがないかを確認し、間違いについては修正してください。</p> <p>間違いがない場合は、理由回答欄に当該二次製品の合計金額が、『工事費』シートの『材料費』より大きくなっている理由を入力してください。</p>

11-8 「準備費」シート

立木、伐採等の補償に関して入力します。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

11-8-1 入力例（準備費シート）

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; padding: 2px;">工事名</td> <td style="padding: 2px;">〇〇〇〇工事</td> </tr> </table>	工事名	〇〇〇〇工事															
工事名	〇〇〇〇工事																
<p>準備費に関する調査</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: small;"> 黄色塗りつぶし部分:入力必要箇所 緑色塗りつぶし部分:黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可) その他の部分:シートの書換等を防ぐ為、入力不可にしている。 パスワードが要求される場合の対処方法: 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗りつぶし部分)に入力して下さい。 </div> <p>I 本工事用地の取得時において、立木の補償等を行いましたか。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="text-align: center;">行った</td> </tr> </table> <p style="color: red; font-weight: bold;">以下の項目に答えてください。</p> <p>II 補償の方法</p> <p style="font-size: x-small;">(地権者が複数等、補償方式も複数ある場合、複数回答可)</p> <p style="font-size: x-small;">以下の補償の方法から該当するものに“○”をつけてください。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; text-align: center;">○</td> <td>1 伐採補償</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; text-align: center;">×</td> <td>2 伐採控除補償</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; text-align: center;">×</td> <td>3 取得補償</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; text-align: center;">×</td> <td>4 その他 (下記に具体的に入力してください。)</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="background-color: yellow;"></td> </tr> </table>		行った		○	1 伐採補償		×	2 伐採控除補償		×	3 取得補償		×	4 その他 (下記に具体的に入力してください。)			
	行った																
	○	1 伐採補償															
	×	2 伐採控除補償															
	×	3 取得補償															
	×	4 その他 (下記に具体的に入力してください。)															

11-8-2 入力項目（準備費シート）

項目	内容
I 立木の補償等	本工事用地取得時の『立木の補償等』の有無を選択してください。
II 補償の方法	『I』において、『I 行った』を選択した場合は、該当する補償の方法を下記の『1～4』から選択してください。 (複数回答可)
1 伐採補償	伐採費を地権者に補償した場合です。
2 伐採控除補償	伐採費を地権者に補償しない場合です。(発注者にて伐採)
3 取得補償	立木の取得費を補償した場合です。
4 その他	上記以外の補償を行った場合です。 注) 具体的な内容を入力してください。

11-9 「積算方式」シート

調査対象工事において、「見積り活用積算方式」及び「間接工事費実績変更方式」を採用した場合に入力します。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

11-9-1 入力例（準備費シート）

工事名		〇〇〇〇工事	
<p>積算方式に関する調査</p> <p>1.各積算方式の有無について「〇」又は「×」を入力してください。</p> <p>2.上記で「〇」を入力した場合は、項目数と項目内容を入力してください。</p> <p>3.各項目の内容の記入方法は、直接工事費は細目(レベル4)、間接工事費は、積上げ項目名・費目名を入力してください。</p>			
I.見積り活用積算方式		II.間接工事費実績変更方式	
見積り活用積算方式で見積りを採用した工事		間接工事費実績変更方式の有無	
〇		〇	
見積採用項目数		間接工事費実績変更項目数	
1		3	
見積採用項目の内容			
1	交通量が多い市街地での管路部布設工	1	運搬費: 器材等の搬入、搬出の費用
2		2	安全費: 安全施設類の設置、撤去の費用
3		3	営繕費: 材料保管場の維持の費用
4		4	
5		5	
6		6	
7		7	
8		8	
9		9	
10		10	

11-9-2 入力項目（積算方式シート）

項目	内容
『I 見積り活用積算方式』・『II 間接工事費実績変更方式』	
積算方式の有無	該当する積算方式の有無を選択してください。
項目数	該当する積算方式の積算項目の数を入力してください。
項目の内容	該当する積算方式の積算項目の内容を入力してください。

11-10 「ICT」シート

調査対象工事が「ICT 活用工事」であった場合に入力します。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認してください。

11-10-1 入力例 (ICT シート)

工事名		〇〇〇〇工事			
ICT活用工事に係る設計金額等調査 ※本シートは、ICT活用工事を実施した場合のみご記入ください。					
1	発注方式	施工者希望Ⅱ型 其他の場合			
2	ICT活用工事の工程	ICT地盤改良工(安定処理) 其他の場合			
3	設計金額	直接工事費	掘削(ICT)	0	千円
			路体(築堤)盛土(ICT)	8,455	千円
			路床盛土(ICT)	4,544	千円
			法面整形(ICT)	3,444	千円
			浚渫(ICT)	1,384	千円
			浚渫船運転費(ICT)	0	千円
			安定処理(ICT)	3,515	千円
			中層混合処理(ICT)	35,454	千円
			上記以外	13,515	千円
			上記以外	0	千円
			上記以外	0	千円
			上記以外	0	千円
			上記以外	0	千円
			合計	70,311	千円
			共通仮設費一技術管理費	保守点検 掘削(ICT)	3,545
	保守点検 路体(築堤)盛土(ICT)	2,154		千円	
	保守点検 路床盛土(ICT)	3,545		千円	
	保守点検 法面整形(ICT)	7,454		千円	
	保守点検 浚渫(ICT)	2,185		千円	
	保守点検 浚渫船運転(ICT)	8,568		千円	
	保守点検 安定処理(ICT)	358		千円	
	保守点検 中層混合処理(ICT)	8,454		千円	
	システム初期費(ICT) BH	266		千円	
	システム初期費(ICT) BD	254		千円	
	3次元起工測量	132		千円	
	3次元設計データ作成	1,544		千円	
	3次元出来形管理資料作成(浚渫工)	3,545		千円	
	上記以外			千円	
	上記以外			千円	
	上記以外		千円		
上記以外		千円			
上記以外		千円			
上記以外		千円			
上記以外		千円			
合計	42,004	千円			
上記以外の費目で計上	計上費目()		千円		
	計上費目()		千円		
	計上費目()		千円		
	計上費目()		千円		
	計上費目()		千円		
	計上費目()		千円		
	計上費目()		千円		
合計	0	千円			
ICT活用工事に係る設計金額を記入して下さい。 ※「工事費」シートと同じく、最終設計書の一次官積の金額です。					
4	直接工事費合計に占めるICT活用工事の割合	14.6%			

11-10-2 入力項目 (ICT シート)

項目	内容
1 発注方式	<p>発注方式について、以下から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注者指定型 ・施工者希望Ⅰ型 ・施工者希望Ⅱ型 ・その他 <p>注)「その他」を選択した場合は、発注方式の具体的内容を入力してください。</p>
2 ICT活用工事の工種	<p>ICT活用工事の工種について、以下から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT土工 ・ICT浚渫工 ・ICT付帯構造設置工 ・ICT法面工 ・ICT地盤改良工 ・ICT地盤改良工 (安定処理) ・ICT地盤改良工 (中層混合処理) ・その他 <p>注1) 複数選択可能です。 注2)「その他」を選択した場合は、工種の具体的内容を入力してください。</p>
3 設計金額	
直接工事費	<p>『最終設計金額』における直接工事費の内、ICT活用工事に関する金額を以下の施工単価毎に入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掘削 (ICT) ※H29 積算基準 ・掘削 (ICT) ※H30 積算基準 [ICT建機使用割合 100%] ・路体 (築堤) 盛土 (ICT) ・路床盛土 (ICT) ・法面整形 (ICT) ・浚渫 (ICT) ・浚渫船運転費 (ICT) ・安定処理 (ICT) ・中層混合処理 (ICT) <p>注) 上記以外に設計計上している場合、計上した項目と金額を入力してください。</p>
共通仮設費－技術管理費	<p>『最終設計金額』における「共通仮設費－技術管理費」の内、ICT活用工事に関する金額を以下項目毎に入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保守点検 掘削 (ICT) ・保守点検 路体 (築堤) 盛土 (ICT) ・保守点検 路床盛土 (ICT) ・保守点検 法面整形 (ICT) ・保守点検 浚渫 (ICT) ・保守点検 浚渫船運転 (ICT)

港湾

項目	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・保守点検 安定処理 (ICT) ・保守点検 中層混合処理 (ICT) ・システム初期費 (ICT) BH ・システム初期費 (ICT) BD ・3次元起工測量 ・3次元設計データ作成 ・3次元出来形管理資料作成 (浚渫工) <p>注) 上記以外に設計計上している場合、計上した項目と金額を入力してください。</p>
上記以外の費目で計上	直接工費費、共通仮設費－技術管理費以外の費目でICT活用工事に関して設計計上している場合、費目、項目、金額を入力してください。
4 直接工事費合計に占めるICT活用工事の割合	工事費シートの『直接工事費』で入力した金額と、本シート『直接工事費』で入力した金額から、自動計算します。

11-11 「感染対策」シート

設計変更により、新型コロナウイルスの感染拡大防止策に係る費用を計上した場合に入力します。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

11-11-1 入力例（感染対策シート）

工事名		〇〇〇〇工事	
新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用調査 ※本シートは、設計変更により新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用を計上した場合のみご記入ください。			
費目	項目	金額	
1 共通仮設費	労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費		35 千円
	現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料		15 千円
	上記以外		千円
	上記以外		千円
	上記以外		千円
	上記以外		千円
	上記以外		千円
	合計		50 千円
2 現場管理費	現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用		300 千円
	現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用		200 千円
	遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費		500 千円
	上記以外		千円
	上記以外		千円
	上記以外		千円
	上記以外		千円
	合計		1,000 千円

11-11-2 入力項目（感染対策）

項 目	内 容
1 共通仮設費	<p>設計変更により、共通仮設費に計上した新型コロナウイルスの感染拡大対策防止に係る費用を以下項目毎に入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費 ・現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料 <p>注) 上記以外に計上している場合、計上した項目と金額を入力してください。</p>
2 現場管理費	<p>設計変更により、現場管理費に計上した新型コロナウイルスの感染拡大対策防止に係る費用を以下項目毎に入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用 ・現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用 ・遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費 <p>注) 上記以外に計上している場合、計上した項目と金額を入力してください。</p>

11-12 「確認」シート

各入力シートで入力した調査情報についての内容、『未入力』及び『エラー (E)』件数について確認するシートです。

注) 確認後、入力修正が必要な場合は、各入力シートで修正します。

以下の入力例を参考に、確認項目の内容を確認してください。

11-12-1 入力例 (確認シート)

<p>工事名 ○○○○工事</p>	<p>1. 共通仮設費積算対象金額と共通仮設費率分の確認</p> <p style="font-size: small;">本シートは、入力内容を確認するシートです。 入力修正が必要な場合は、各入力シートで修正してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力金額と自動計算値が一致しているか確認してください。 ・チェック結果欄に「エラー」が表示される場合は、「エラーの確認内容」欄及び、自動計算結果(自動計算値)を参考に入力金額を確認してください。 ・入力金額確認後、自動計算値と一致しない場合は、理由回答欄に理由を入力してください。 					項目①																																																				
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">費 目</th> <th style="width:15%;">入力金額 (千円)</th> <th style="width:15%;">自動計算値 (千円)</th> <th style="width:10%;">チェック結果</th> <th style="width:35%;">エラーの確認内容</th> <th style="width:10%;">理由回答欄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共通仮設費積算対象金額</td> <td style="text-align: right;">480,818</td> <td style="text-align: right;">480,818</td> <td style="text-align: center;">OK</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通仮設費の率分</td> <td style="text-align: right;">27,407</td> <td style="text-align: right;">27,407</td> <td style="text-align: center;">OK</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	費 目	入力金額 (千円)	自動計算値 (千円)	チェック結果	エラーの確認内容		理由回答欄	共通仮設費積算対象金額	480,818	480,818	OK			共通仮設費の率分	27,407	27,407	OK			<p>※「共通仮設費積算対象金額」自動計算結果 共通仮設費積算対象金額(自動計算値) = + + + + - 0 「共通仮設費積算対象金額」自動計算値 = 「直接工事費」+「支給材料費」+「無償貸与機械等評価額」+「事業損失防止施設費」+「準備費中の処分費」-「共通仮設費の対象額に含めない費用」</p> <p>※「共通仮設費の率分」自動計算結果 #DIV/0! 「共通仮設費率分」自動計算値 = 「共通仮設費積算対象金額」×「工種コードによる共通仮設費率(kr)」+「地域特性コードによる補正値」</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">項 目</th> <th style="width:20%;">入力シート</th> <th style="width:20%;">入力値</th> <th style="width:40%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工種コード</td> <td>一般事項</td> <td>302: 港湾浚渫工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域特性コード</td> <td>一般事項</td> <td></td> <td style="font-size: 8px;">--未入力です。「一般事項」シートで「地域特性」を入力してください。</td> </tr> <tr> <td>海上輸送補正の有無</td> <td>一般事項</td> <td>2: 補正なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通仮設費積算対象金額</td> <td>工事費</td> <td></td> <td style="font-size: 8px;">--未入力です。「工事費」シートで「共通仮設費積算対象金額」を入力してください。</td> </tr> <tr> <td>共通仮設費の率分</td> <td>工事費</td> <td></td> <td style="font-size: 8px;">--未入力です。「工事費」シートで「共通仮設費の率分」を入力してください。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: 8px;">Kr=A×P^b Kr: 共通仮設費率 (R2基準) P: 対象額 A: 変数値 (R2基準) b: 変数値 (R2基準)</p> <p style="font-size: 8px; background-color: #e0ffe0; padding: 2px;">以下の条件では共通仮設費率分の入力と自動計算値が一致しない場合があります。 ① R2以前の基準による積算の場合 (変数値、共通仮設費率が改訂されている場合) ② 随意契約による補正がある場合 ③ 複数工種による合算工事の場合 ④ 独自の共通仮設費率を用いている場合</p>					項 目	入力シート	入力値		工種コード	一般事項	302: 港湾浚渫工事		地域特性コード	一般事項		--未入力です。「一般事項」シートで「地域特性」を入力してください。	海上輸送補正の有無	一般事項	2: 補正なし		共通仮設費積算対象金額	工事費		--未入力です。「工事費」シートで「共通仮設費積算対象金額」を入力してください。	共通仮設費の率分	工事費		--未入力です。「工事費」シートで「共通仮設費の率分」を入力してください。										
費 目	入力金額 (千円)	自動計算値 (千円)	チェック結果	エラーの確認内容	理由回答欄																																																					
共通仮設費積算対象金額	480,818	480,818	OK																																																							
共通仮設費の率分	27,407	27,407	OK																																																							
項 目	入力シート	入力値																																																								
工種コード	一般事項	302: 港湾浚渫工事																																																								
地域特性コード	一般事項		--未入力です。「一般事項」シートで「地域特性」を入力してください。																																																							
海上輸送補正の有無	一般事項	2: 補正なし																																																								
共通仮設費積算対象金額	工事費		--未入力です。「工事費」シートで「共通仮設費積算対象金額」を入力してください。																																																							
共通仮設費の率分	工事費		--未入力です。「工事費」シートで「共通仮設費の率分」を入力してください。																																																							
<p>2. 未入力・エラーの確認</p> <p>・未入力の件数及び、エラー(E)の件数が「0」になっていることを確認してください。</p>		項目②																																																								
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">シート名</th> <th style="width:10%;"></th> <th style="width:15%;">未入力の件数</th> <th style="width:15%;">エラー(E)の件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事情報</td> <td>=></td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> </tr> <tr> <td>一般事項</td> <td>=></td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>=></td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>=></td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> </tr> <tr> <td>施工環境</td> <td>=></td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> </tr> <tr> <td>二次製品</td> <td>=></td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> </tr> <tr> <td>準備費</td> <td>=></td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> </tr> <tr> <td>積算方式</td> <td>=></td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> </tr> <tr> <td>ICT</td> <td>=></td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> </tr> <tr> <td>感染対策</td> <td>=></td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> </tr> <tr> <td>確認</td> <td>=></td> <td style="text-align: center;">/ 件</td> <td style="text-align: center;">0 件</td> </tr> <tr> <td>元請調査票データ</td> <td>=></td> <td style="text-align: center;">0 件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			シート名		未入力の件数	エラー(E)の件数	工事情報	=>	0 件	0 件	一般事項	=>	0 件	0 件	工事費	=>	0 件	0 件	工期	=>	0 件	0 件	施工環境	=>	0 件	0 件	二次製品	=>	0 件	0 件	準備費	=>	0 件	0 件	積算方式	=>	0 件	0 件	ICT	=>	0 件	0 件	感染対策	=>	0 件	0 件	確認	=>	/ 件	0 件	元請調査票データ	=>	0 件		<p style="text-align: center; font-size: 24px;">項目③</p>			
シート名		未入力の件数	エラー(E)の件数																																																							
工事情報	=>	0 件	0 件																																																							
一般事項	=>	0 件	0 件																																																							
工事費	=>	0 件	0 件																																																							
工期	=>	0 件	0 件																																																							
施工環境	=>	0 件	0 件																																																							
二次製品	=>	0 件	0 件																																																							
準備費	=>	0 件	0 件																																																							
積算方式	=>	0 件	0 件																																																							
ICT	=>	0 件	0 件																																																							
感染対策	=>	0 件	0 件																																																							
確認	=>	/ 件	0 件																																																							
元請調査票データ	=>	0 件																																																								

11-12-2 確認項目（確認シート）

項 目	内 容	
①	1. 共通仮設費積算対象金額と共通仮設費率分の確認	
	共通仮設費積算対象金額	
	入力金額	『工事費』シート内の『共通仮設費積算対象金額』で入力した金額が表示されます。
	自動計算値	入力シートで入力した条件を基に、『共通仮設費積算対象金額』の自動計算値が表示されます。 注) 自動計算値は、下記により算出しています。 『共通仮設費積算対象金額』の自動計算値 ＝『直接工事費』＋『支給材料費』＋『無償貸付機械等評価額』＋『事業損失防止施設費』＋『準備費中の処分費』－『共通仮設費の対象額に含めない費用』
	チェック結果	『入力金額』と『自動計算値』が一致しているか確認してください。一致していない場合は、『エラー』と表示されます。 注) 調査対象工事の積算条件により、入力金額に間違いがない場合でも、『エラー』となることが考えられます。その場合は、必ず『理由回答欄』にその理由を入力して、チェック結果の表示を『OK』にしてください。ただし、エラーの確認内容のエラー理由の表示は消えません。
	エラーの確認内容	チェック結果で『エラー』と表示された場合に、そのエラー理由が表示されます。入力金額に間違いがないかを確認してください。修正が必要な場合は、『工事費』シート内の『共通仮設費積算対象金額』にて、入力した金額を修正してください。
	理由回答欄	入力金額に間違いがない場合は、その理由を入力してください。
	共通仮設費の率分	
	入力金額	『工事費』シート内の『②間接工事費 (1) 共通仮設費 2) 共通仮設費の率分』で入力した金額が表示されます。
	自動計算値	入力シートで入力した条件を基に、『共通仮設費の率分』の自動計算値が表示されます。 注) 自動計算値は、下記により算出しています。 『共通仮設費の率分』の自動計算値 ＝『共通仮設費積算対象金額』×（『工種コードによる共通仮設費率』＋『地域特性コードによる補正』＋『海上輸送補正』） ただし、『海上輸送補正』は、港湾工事のみが対象です。
チェック結果	『入力金額』と『自動計算値』が一致しているか確認してください。一致していない場合は、『エラー』と表示されます。 注) 調査対象工事の積算条件により、入力金額及び入力内容に間違いがない場合でも、『エラー』となることが考えられます。その場合は、必ず『理由回答欄』にその理由を入力して、チェック結果の表示を『OK』にしてください。ただし、エラーの確認内容のエラー理由の表示は消えません。	

港湾

項目	内容	
①	エラーの確認内容	<p>チェック結果で『エラー』と表示された場合に、そのエラー理由が表示されます。</p> <p>『※「共通仮設費の率分」自動計算結果』を参考に、各入力シートの入力金額及び入力内容に間違いがないかを確認してください。</p> <p>修正が必要な場合は、該当シートにて修正してください。</p>
	理由回答欄	<p>『エラー』表示がある場合に、入力金額及び入力内容に間違いがない場合は、その理由を入力してください。</p> <p>例) ①当該年度以前の積算基準を適用（共通仮設費率の改定による） ②随意契約による補正がある・③除雪工事による補正がある</p>
②	<p>※「共通仮設費の率分」自動計算結果 注) 入力した金額及び条件による「共通仮設費の率分」の自動計算結果（算出式）が表示されます。</p>	
	工種コード	<p>『一般事項』シート内の『工種コード』の入力値が表示されます。</p> <p>入力値に間違いがないかを確認してください。</p> <p>修正が必要な場合は、『一般事項』シートの当該項目で行ってください。</p>
	地域特性コード	<p>『一般事項』シート内の『地域特性コード』の入力値が表示されます。</p> <p>入力値に間違いがないかを確認してください。</p> <p>修正が必要な場合は、『一般事項』シートの当該項目で行ってください。</p>
	海上輸送補正	<p>『一般事項』シート内の『海上輸送補正』の入力値が表示されます。</p> <p>入力値に間違いがないかを確認してください。</p> <p>注) 港湾工事のみが対象です。</p> <p>修正が必要な場合は、『一般事項』シートの当該項目で行ってください。</p>
	共通仮設費積算対象金額	<p>『工事費』シート内の『共通仮設費積算対象金額』の入力値が表示されます。</p> <p>入力値に間違いがないかを確認してください。</p> <p>修正が必要な場合は、『工事費』シートの当該項目で行ってください。</p>
	共通仮設費の率分	<p>『工事費』シート内の『共通仮設費の率分』の入力値が表示されます。</p> <p>入力値に間違いがないかを確認してください。</p> <p>修正が必要な場合は、『工事費』シートの当該項目で行ってください。</p>

項目	内容	
③	2. 未入力・エラーの確認 注)『未入力』及び『エラー (E)』の件数が『0』になっていることを確認してください。	
	工事情報	『工事情報』シート内に『未入力』及び『エラー (E)』がある場合は、その件数が表示されます。
	一般事項	『一般事項』シート内に『未入力』及び『エラー (E)』がある場合は、その件数が表示されます。
	工事費	『工事費』シート内に『未入力』及び『エラー (E)』がある場合は、その件数が表示されます。
	工期	『工期』シート内に『未入力』及び『エラー (E)』がある場合は、その件数が表示されます。
	施工環境	『施工環境』シート内に『未入力』及び『エラー (E)』がある場合は、その件数が表示されます。
	二次製品	『二次製品』シート内に『未入力』及び『エラー (E)』がある場合は、その件数が表示されます。
	準備費	『準備費』シート内に『未入力』及び『エラー (E)』がある場合は、その件数が表示されます。
	積算方式	『積算方式』シート内に『未入力』及び『エラー (E)』がある場合は、その件数が表示されます。
	ICT	『ICT』シート内に『未入力』及び『エラー (E)』がある場合は、その件数が表示されます。
	感染対策	『感染対策』シート内の『未入力』及び『エラー (E)』の件数が表示されます。
	確認	『確認』シート内に『エラー (E)』がある場合は、その件数が表示されます。
	元請調査票データ	『元請調査票データ』シートに元請調査票からの貼付漏れがないかが表示されます。

11-14 「チェック」シート

調査票（発注者用及び元請者用）の精度向上を図るため、発注者、元請者双方の入力内容（金額）の正否、及び調査票（元請者用）の不備（未入力及びエラー）の有無についてチェックします。

注）入力システム（⑧発注.xlsx）の入力が完了し、元請者から調査票（元請者用）を回収した後
にチェックをしてください。

以下の入力例を参考に、チェック（『チェックの実行』の操作）方法とチェック項目の内容を確認してください。

11-14-1 入力例（チェックシート）

1. 発注者への入力金額対比チェック

① 向に対象工事の入力済み「元請00」を入れてください。
② シート「元請調査票データ」に元請の調査票データを貼り付けて下さい。

※本シートは、受発注の入力金額を確認するシートです。
入力修正が必要な場合は、工事費シート（発注ファイル）又は、元請ファイル修正してください。
修正後は再度、「チェックの実行」を行ってください。

発注ファイル	12345	〇〇〇〇工事
元請ファイル	12345	〇〇〇〇工事

整理番号欄

③ 発注者への入力金額対比
チェック結果欄に「実額欄」が赤字表示される場合は、「実額欄一覽表」シートを参考に発注・元請ファイルの入力金額を確認してください。赤字の結果、元請の計上と異なりがある場合は、「元請ファイル」の修正が必要です。
・入力金額に間違いがない場合は、金額差の理由を「確認結果」欄に入力してください。

例) ① 直接工事費：受注者の金額が発注者の積算に対して過小 → 確認結果：材料の安値購入（元請に確認）
例) ② 現場管理費：受注者の金額が発注者の積算に対して過大 → 確認結果：工期延滞に伴う社員等従業員給料手当の増加（元請に確認）

費目	発注ファイル (積算額)		元請ファイル (実積額)		チェック結果	確認結果
	入力金額	構成比率	入力金額	構成比率		
工事原価金額(消費税込)	829,590		829,590		OK	
消費税相当額	61,451		61,451		OK	
① 直接工事費	480,818	104.5%	330,576	73.6%	OK	
(1) 材料費	250,555	54.5%	154,468	34.4%	OK	
(2) 支給材料費	0				OK	
(3) 労務費	120,520	26.2%	78,877	17.6%	OK	
(4) 機械器具等諸料	109,109	23.7%	96,728	21.5%	OK	
(5) 搬送運付機械等許容額	0				OK	
(6) 現場準備	0	0.0%			OK	
(7) その他 元請ファイルは、貸与機械等現場 修理・管理費・直接経費・特殊経費	634	0.1%	503	0.1%		
② 間接工事費	62,740	13.6%	94,662	21.1%		
(1) 共通経費	50,341	10.9%	41,590	9.3%	OK	
1) 共通経費(積上げ)	13,134	2.9%	14,134	3.1%	OK	
2) 共通経費(平分)	27,407	6.0%	22,356	5.0%	OK	
3) 現場環境改善費(平分・積上げ)	9,800	2.1%	5,500	1.2%	OK	
2) 補償費	0	0.0%	0	0.0%	OK	
(3) 現場管理費	55,879	12.1%	53,072	11.8%	OK	
(4) 機器間接費	0	0.0%	0	0.0%	OK	
③ 一般管理費等	40,400	8.8%	23,762	5.3%	OK	
④ 鋼構等工場製作費 電気通信設備工事の場合は、検査費休業)	0	0.0%	0	0.0%	OK	
⑤ 別途調査等工事原価	0	0.0%	0	0.0%	OK	
⑥ 工事価格 原札率 99%	460,002	100.0%	449,000	100.0%	OK	

項目①

金額構成比率(金額チェックの参考)

項目	発注ファイル (積算額)	元請ファイル (実積額)
共通経費	23.7%	21.5%
現場管理費	12.1%	11.8%
労務費	26.2%	17.6%
機械器具等諸料	23.7%	21.5%
材料費	54.5%	34.4%
その他	0.1%	0.1%
間接費	13.6%	21.1%
直接工事費	104.5%	73.6%

2. 元請ファイルの入力状況(未入力・エラー件数)

未入力の件数	0	件
エラーの件数	0	件

項目②

元請ファイル実績金額	率分	積上げ
共通経費(現場環境改善費除く)	22,356	14,134
運搬費	1,615	1,020
機械材	1,085	783
- 鋼材①	525	-
- 鋼材②	-	683
- 鋼材③	23	-
鉄筋①	408	-
鉄筋②	0	-
鉄筋③	0	-

3. 下請の金額確認

下請工事価格に対して、外注一般管理費等の金額(下請工事原価から工事原価を差し引いた金額)が適切か確認してください。
外注一般管理費等の金額が過大、過小となっている場合は、入力間違いがないか確認してください。
直接工事費、間接工事費の計上漏れや二次下請費用の計上漏れ等があると外注一般管理費が小さくなります。
二重計上や入力単位(円単位入力)の誤入力があると外注一般管理費が小さく(マイナス)なります。

下請会社名	下請工事価格	外注一般管理費等	外注一般管理費等/下請工事価格(%)	チェック結果	確認結果
A建設	130,033	2,583	2.0%	OK	
B構築	21,760	24	0.1%	OK	
C設備	5,150	339	6.6%	OK	
D技術	100	11	11.0%	OK	
E測量	1,639	16	1.0%	OK	

項目③

56

11-14-2 チェック項目（チェックシート）

項 目	内 容			
①	1. 受発注者の入力金額の対比			
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="322 490 507 562">費 目</td> <td data-bbox="507 490 1449 562"> 工事価格を構成する各費目について、発注者の入力した金額（最終積算金額）と元請者の入力した金額（最終実績金額）を対比し、チェックします。 </td> </tr> </table>	費 目	工事価格を構成する各費目について、発注者の入力した金額（最終積算金額）と元請者の入力した金額（最終実績金額）を対比し、チェックします。	
	費 目	工事価格を構成する各費目について、発注者の入力した金額（最終積算金額）と元請者の入力した金額（最終実績金額）を対比し、チェックします。		
	発注ファイル（積算金額） 注）発注ファイルとは、調査票（発注者用）の『入力システム（⑧発注.xlsx）』です。 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="322 568 507 607">入力金額</td> <td data-bbox="507 568 1449 607"> 発注者が発注ファイルに入力した金額が表示されます。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 607 507 689">構成比率</td> <td data-bbox="507 607 1449 689"> 発注者が発注ファイルに入力した金額の工事価格に対する構成比率が自動算出され、表示されます。 </td> </tr> </table>	入力金額	発注者が発注ファイルに入力した金額が表示されます。	構成比率
入力金額	発注者が発注ファイルに入力した金額が表示されます。			
構成比率	発注者が発注ファイルに入力した金額の工事価格に対する構成比率が自動算出され、表示されます。			
元請ファイル（実績額） 注）元請ファイルとは、調査票（元請者用）の『入力システム（⑩元請.xlsx）』です。 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="322 696 507 808">入力金額</td> <td data-bbox="507 696 1449 808"> 元請者が元請ファイルに入力した金額が表示されます。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 808 507 898">構成比率</td> <td data-bbox="507 808 1449 898"> 元請者が元請ファイルに入力した金額の工事価格に対する構成比率が自動算出され、表示されます。 </td> </tr> </table>	入力金額	元請者が元請ファイルに入力した金額が表示されます。	構成比率	元請者が元請ファイルに入力した金額の工事価格に対する構成比率が自動算出され、表示されます。
入力金額	元請者が元請ファイルに入力した金額が表示されます。			
構成比率	元請者が元請ファイルに入力した金額の工事価格に対する構成比率が自動算出され、表示されます。			
チェック 結果	<p>費目毎に設定されている条件に基づいたチェック結果が表示されます。条件内の場合は『 OK 』、条件から外れると『要確認番号』が表示されます。</p> <p>『要確認番号』が表示された場合は、『要確認一覧表』シートにて該当する『要確認番号』の『要確認内容』と『確認内容』を参考に、発注ファイル及び元請ファイルの入力金額を確認してください。</p> <p>発注者が確認した結果、入力金額に修正が必要な場合は、各ファイルの該当する項目の修正をしてください。 発注ファイル及び元請ファイルを修正した場合は、再度、チェック（『チェックの実行』の操作）を行ってください。</p> <p>注）調査対象工事の積算条件及び元請者の受注条件等により、入力金額に間違いのない場合でも、『要確認』となる場合があります。</p>			
確認結果	<p>入力金額に間違いなく、チェック結果で『要確認』と表示された場合は、その理由を必ず入力してください。入力後、チェック結果の表示が『用確認 → OK 』に変わります。</p> <p>例）元請実績の直接工事費が、発注積算額に対して過小の場合 → 材料を安価に購入（元請者に確認） 元請実績の現場管理費が、発注積算額に対して過大の場合 → 工期延伸に伴う社員等従業員給料手当の増加（元請者に確認）</p>			
グラフ	<p>発注ファイル及び元請ファイルに入力した金額の工事価格に対する構成比率の棒グラフが表示されます。</p> <p>発注者での確認の際に、参考として使用してください。</p>			

項 目	内 容	
②	2. 元請ファイルの入力状況（未入力・エラー件数） 注）元請ファイルとは、調査票（元請者用）の『入力システム（⑩元請.xlsx）』です。	
	未入力の件数	元請ファイルに未入力がある場合は、未入力箇所の件数とエラーメッセージが表示されます。元請ファイルの未入力箇所の修正をしてください。未入力箇所は、元請ファイルの『確認』シートで確認できます。また、未入力箇所には、『※』が表示されています。 金額の計上が無い項目の場合は『0』、入力するものが無い場合は『なし』を入力してください。
	エラーの件数	元請ファイルにエラーがある場合は、エラー箇所の件数とエラーメッセージが表示されます。元請ファイルのエラー箇所の修正をしてください。エラー箇所は、元請ファイルの『確認』シートで確認できます。また、エラー箇所には、『E』が表示されています。
③	3. 下請の金額確認 注）元請者に下請者がある場合は、下請者の入力金額を確認してください。	
	下請会社名	元請ファイル『工事費』シートに入力されている下請会社名が表示されます。
	下請工事価格	元請ファイル『工事費』シートに入力されている下請会社の下請工事価格（元請者の下請者への外注費）が表示されます。
	外注経費（外注一般管理費等）	元請ファイル『工事費』シートに入力されている下請会社の外注経費（外注一般管理費等）が表示されます。
	外注経費（外注一般管理費等）／下請工事価格（％）	元請ファイル『工事費』シートに入力されている『下請会社の外注経費（外注一般管理費等）』の『下請会社の下請工事価格（元請者の下請者への外注費）』に対する比率が表示されます。
	チェック結果	設定されている条件に基づいたチェック結果が表示されます。 条件内の場合は『OK』、条件から外れると『要確認番号』が表示されます。 『要確認番号』が表示された場合は、『要確認一覧表』シートにて該当する『要確認番号』の『要確認内容』と『確認内容』を参考に、元請ファイルの入力金額を確認してください。 発注者が確認した結果、入力金額に修正が必要な場合は、元請ファイルの該当する項目の修正をしてください。 元請ファイルを修正した場合は、再度、『元請調査票データ』シートへの貼付を行ってください。 注）下請者の受注条件等により、入力金額に間違いのない場合でも、『要確認』となる場合があります。
	確認結果	入力金額に間違いなく、チェック結果で『要確認』と表示された場合は、その理由を必ず入力してください。入力後、チェック結果の表示が『用確認 → OK』に変わります。 例）下請実績の外注経費（外注一般管理費等）が過大の場合 → 作業環境が良く、労務費を削減出来た（元請者に確認） 下請実績の外注経費（外注一般管理費等）が過小の場合 → 工期延伸に伴う労務費の増加（元請者に確認）

11-15 「要確認一覧表」シート

「チェック」シートにおいて、『要確認』番号と表示される場合の『要確認』の内容を示した一覧表のシートです。

『要確認』番号が表示される場合は、下記の「要確認一覧表」を参考に、該当する費目の入力内容(金額)を確認してください。

費目 要確認番号	要確認内容	確認内容
工事請負金額		
要確認 1	発注ファイル及び元請ファイルの請負金額が『未入力』となっています。	請負金額を入力してください。
要確認 2	発注ファイルの請負金額が『未入力』となっています。	
要確認 3	元請ファイルの請負金額が『未入力』となっています。	
要確認 4	発注ファイル及び元請ファイルの請負金額が『不一致』となっています。	1. 最終請負金額で入力し、一致させてください。 2. 金額は『千円』単位で入力してください。
消費税相当額		
要確認 5	発注ファイル及び元請ファイルの消費税相当額が『未入力』となっています。	消費税相当額を入力してください。
要確認 6	発注ファイルの消費税相当額が『未入力』となっています。	
要確認 7	元請ファイルの消費税相当額が『未入力』となっています。	
要確認 8	発注ファイル及び元請ファイルの消費税相当額が『不一致』となっています。	1. 消費税相当額を一致させてください。 2. 金額は『千円』単位で入力してください。
直接工事費		
要確認 9	発注ファイル及び元請ファイルの直接工事費が『未入力』となっています。	直接工事費を入力してください。
要確認 10	発注ファイルの直接工事費が『未入力』となっています。	
要確認 11	元請ファイルの直接工事費が『未入力』となっています。	
要確認 12	発注ファイルの直接工事費が『0』となっています。	
要確認 13	元請ファイルの直接工事費が『0』となっています。	

費目		要確認内容	確認内容
要確認番号			
要確認 14	受発注で直接工事費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過大)		1. 金額は『千円』単位で入力になっているか確認してください。 2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 3. 元請ファイルの入力金額(材料費、労務費、機械器具等損料等)は正しいか確認してください。
要確認 15	受発注で直接工事費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過小)		
材料費			
要確認 16	発注ファイル及び元請ファイルの材料費が『未入力』となっています。		材料費を入力してください。
要確認 17	発注ファイルの材料費が『未入力』となっています。		
要確認 18	元請ファイルの材料費が『未入力』となっています。		
要確認 19	発注ファイルの材料費が『0』となっています。		
要確認 20	元請ファイルの材料費が『0』となっています。		
要確認 21	受発注で材料費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過大)		
要確認 22	受発注で材料費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過小)		
支給材料費			
要確認 23	発注ファイルの支給材料費が『未入力』となっています。		1. 支給材料費を入力してください。 2. 費用が発生しない場合は『0』を入力してください。
労務費			
要確認 24	発注ファイル及び元請ファイルの労務費が『未入力』となっています。		労務費を入力してください。
要確認 25	発注ファイルの労務費が『未入力』となっています。		
要確認 26	元請ファイルの労務費が『未入力』となっています。		
要確認 27	発注ファイルの労務費が『0』となっています。		
要確認 28	元請ファイルの労務費が『0』となっています。		

費目		要確認内容	確認内容
要確認番号			
要確認 29	受発注で労務費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過大)		1. 金額は『千円』単位での入力になっているか確認してください。 2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 3. 元請ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 注1) 他費目 (交通誘導員、共通仮設費、現場管理費等)の賃金との二重計上で金額過大になっていないか確認してください。 注2) 現場管理者 (現場代理人、監理技術者等)の賃金を誤計上し、金額過大になっていないか確認してください。
要確認 30	受発注で労務費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過小)		1. 金額は「千円」単位での入力になっているか確認してください。 2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 3. 元請ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 注1) 現場作業員の賃金を『現場管理費の社員等従業員給料手当』に誤計上し、『労務費』が過小となっていないか確認してください。 注2) 『工事費』シートの『下請』入力欄において、『労務費』より『社員等従業員給料手当』が大きい場合は、注1)を確認してください。
機械器具等損料			
要確認 31	発注ファイル及び元請ファイルの機械器具等損料が『未入力』となっています。		機械器具等損料を入力してください。
要確認 32	発注ファイルの機械器具等損料が『未入力』となっています。		
要確認 33	元請ファイルの機械器具等損料が『未入力』となっています。		
要確認 34	発注ファイルの機械器具等損料が『0』となっています。		
要確認 35	元請ファイルの機械器具等損料が『0』となっています。		

費目		要確認内容	確認内容
要確認番号			
要確認 36	受発注で機械器具等損料の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過大)	受発注で機械器具等損料の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過小)	1. 金額は「千円」単位での入力になっているか確認してください。 2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 3. 元請ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 3-1. 二重計上はないか確認してください。 3-2. 計上漏れはないか確認してください。
要確認 37			
無償貸付機械等評価額			
要確認 38	発注ファイルの無償貸付機械等評価額が『未入力』となっています。		1. 無償貸付機械等評価額を入力してください。 2. 費用が発生しない場合は『0』を入力してください。
市場単価			
要確認 39	発注ファイルの市場単価が『未入力』となっています。		1. 市場単価を入力してください。 2. 費用が発生しない場合は『0』を入力してください。
共通仮設費			
要確認 40	発注ファイル及び元請ファイルの共通仮設費が『未入力』となっています。	共通仮設費を入力してください。	1. 金額は『千円』単位での入力になっているか確認してください。 2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 3. 元請ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 3-1. 二重計上はないか確認してください。 3-2. 計上漏れはないか確認してください。
要確認 41	発注ファイルの共通仮設費が『未入力』となっています。		
要確認 42	元請ファイルの共通仮設費が『未入力』となっています。		
要確認 43	発注ファイルの共通仮設費が『0』となっています。		
要確認 44	元請ファイルの共通仮設費が『0』となっています。		
要確認 45	受発注で共通仮設費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過大)		
要確認 46	受発注で共通仮設費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過小)		

費 目		要確認内容	確認内容
要確認番号			
共通仮設費（積上げ）			
要確認 47	発注ファイル及び元請ファイルの共通仮設費（積上げ）が『未入力』となっています。	共通仮設費（積上げ）を入力してください。	
要確認 48	発注ファイルの共通仮設費（積上げ）が『未入力』となっています。		
要確認 49	元請ファイルの共通仮設費（積上げ）が『未入力』となっています。		
要確認 50	受発注で共通仮設費（積上げ）の金額差が大きくなっています。 （元請ファイル実績額の過大）	1. 金額は「千円」単位での入力になっているか確認してください。 2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 3. 元請ファイルの入力金額は正しいか確認してください。	
要確認 51	受発注で共通仮設費（積上げ）の金額差が大きくなっています。 （元請ファイル実績額の過小）		
共通仮設費（率分）			
要確認 52	発注ファイル及び元請ファイルの共通仮設費（率分）が『未入力』となっています。	共通仮設費（率分）を入力してください。	
要確認 53	発注ファイルの共通仮設費（率分）が『未入力』となっています。		
要確認 54	元請ファイルの共通仮設費（率分）が『未入力』となっています。		
要確認 55	発注ファイルの共通仮設費（率分）が『0』となっています。	1. 金額は「千円」単位での入力になっているか確認してください。 2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 3. 元請ファイルの入力金額は正しいか確認してください。	
要確認 56	元請ファイルの共通仮設費（率分）が『0』となっています。		
要確認 57	受発注で共通仮設費（率分）の金額差が大きくなっています。 （元請ファイル実績額の過大）	3-1. 二重計上はないか確認してください。 3-2. 計上漏れはないか確認してください。	
要確認 58	受発注で共通仮設費（率分）の金額差が大きくなっています。 （元請ファイル実績額の過小）		

費目	要確認内容	確認内容
要確認番号		
現場環境改善費		
要確認 59	発注ファイル及び元請ファイルの現場環境改善費が『未入力』となっています。	現場環境改善費を入力してください。
要確認 60	発注ファイルの現場環境改善費が『未入力』となっています。	
要確認 61	元請ファイルの現場環境改善費が『未入力』となっています。	
要確認 62	受発注で現場環境改善費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過大)	1. 金額は「千円」単位での入力になっているか確認してください。 2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 3. 元請ファイルの入力金額は正しいか確認してください。
要確認 63	受発注で現場環境改善費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過小)	
補償費		
要確認 64	発注ファイル及び元請ファイルの補償費が『未入力』となっています。	1. 補償費を入力してください。 2. 費用が発生しない場合は『0』を入力してください。
要確認 65	発注ファイルの補償費が『未入力』となっています。	
要確認 66	元請ファイルの補償費が『未入力』となっています。	
要確認 67	発注ファイルに費用計上があるのに対し、元請ファイルに実績額の計上がありません。	元請ファイルに実績費用を計上してください。
要確認 68	発注ファイルに費用計上が無いのに、元請ファイルに費用計上があります。	元請ファイルの計上金額は『②間接工事費 (3) 現場管理費 リ 補償費』に計上してください。
要確認 69	受発注で補償費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過大)	1. 金額は「千円」単位での入力になっているか確認してください。 2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 3. 元請ファイルの入力金額は正しいか確認してください。
要確認 70	受発注で補償費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過小)	

費目	要確認内容	確認内容
要確認番号		
現場管理費		
要確認 71	発注ファイル及び元請ファイルの現場管理費が『未入力』となっています。	現場管理費を入力してください。
要確認 72	発注ファイルの現場管理費が『未入力』となっています。	
要確認 73	元請ファイルの現場管理費が『未入力』となっています。	
要確認 74	発注ファイルの現場管理費が『0』となっています。	
要確認 75	元請ファイルの現場管理費が『0』となっています。	
要確認 76	受発注で現場管理費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過大)	<p>1. 金額は『千円』単位での入力になっているか確認してください。</p> <p>2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。</p> <p>3. 元請ファイルの入力金額は正しいか確認してください。</p> <p>注1) 現場作業員の賃金を『社員等従業員給料手当』に誤計上し、現場管理費が過大になっていないか確認してください。</p> <p>注2) 『工事費』シートの『下請』入力欄において、労務費より社員等従業員給料手当が大きい場合は、注1)を確認してください。</p> <p>注3) 『工事費』シートの『下請』入力欄において、『外注経費(外注一般管理費等)』の金額が大きい場合は、直接工事費、共通仮設費に計上漏れがないか確認してください。</p> <p>注4) 『外注経費(外注一般管理費等)』は、『下請工事価格』から『工事原価』を差し引いた金額です。実績費用に計上漏れがあると『外注経費(外注一般管理費等)』が大きくなります。</p>
要確認 77	受発注で現場管理費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過小)	<p>1. 金額は『千円』単位での入力になっているか確認してください。</p> <p>2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。</p> <p>3. 元請ファイルの入力金額は正しいか確認してください。</p> <p>3-1. 『社員等従業員給料手当』や『法定福利費』などに計上漏れはないか確認してください。</p>

費目 要確認番号	要確認内容	確認内容
機器間接費		
要確認 78	発注ファイル及び元請ファイルの機器間接費が『未入力』となっています。	機器間接費を入力してください。
要確認 79	発注ファイルの機器間接費が『未入力』となっています。	
要確認 80	元請ファイルの機器間接費が『未入力』となっています。	
要確認 81	受発注で機器間接費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過大)	1. 金額は『千円』単位での入力になっているか確認してください。 2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。
要確認 82	受発注で機器間接費の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過小)	
一般管理費等		
要確認 83	発注ファイル及び元請ファイルの一般管理費等が『未入力』となっています。	一般管理費等を入力してください。
要確認 84	発注ファイルの一般管理費等が『未入力』となっています。	
要確認 85	発注ファイルの一般管理費等が『0』となっています。	
要確認 86	元請ファイルの一般管理費等が『未入力』となっています。	
要確認 87	元請ファイルの一般管理費等が大きくなっています。	1. 直接工事費及び間接工事費等に計上漏れはないか確認してください。 注) 『一般管理費等』の項目は、『工事価格』から『工事原価』を差し引いた金額です。 直接工事費や間接工事費等に計上漏れがあると『一般管理費等』の金額が大きくなります。 計上漏れがないか確認してください。
要確認 88	元請ファイルの一般管理費等が小さくなっています。 (マイナス)	1. 直接工事費や間接工事費で二重計上はないか確認してください。 2. 元請及び下請で二重計上はないか確認してください。 3. 直接工事費や間接工事費に『円単位』での誤入力はないか確認してください。 注) 『一般管理費等』の項目は、『工事価格』から『工事原価』を差し引いた金額です。 二重計上があると『一般管理費等』の金額が小さくなります。 計上間違いがないか確認してください。

費目 要確認番号	要確認内容	確認内容
鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）		
要確認 89	発注ファイル及び元請ファイルの鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）が『未入力』となっています。	1. 鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）を入力してください。 2. 費用が発生しない場合は『0』を入力してください。
要確認 90	発注ファイルの鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）が『未入力』となっています。	1. 鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）を入力してください。 2. 費用が発生しない場合は『0』を入力してください。
要確認 91	元請ファイルの鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）が『未入力』となっています。	
要確認 92	発注ファイルに費用計上があるのに対して、元請ファイルに実績額の計上がありません。	注）発注者側の積算品目に相当する実績額を元請ファイルに入力するよう元請担当者に伝えてください。 元請ファイルでは、鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）分を 直接工事費の材料費に誤計上している ことが考えられます。
要確認 93	発注ファイルに費用計上が無いのに対して、元請ファイルに費用計上があります。	注）発注者側で積算計上が無い場合は、元請ファイルに費用は計上できません。 元請側の自主工場製作品の場合は、材料費に計上してください。
要確認 94	受発注で鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）の金額差が大きくなっています。 （元請ファイル実績額の過大）	1. 金額は『千円』単位での入力になっているか確認してください。 2. 発注ファイルの入力金額は正しいか確認してください。 3. 元請ファイルの入力金額は正しいか確認してください。
要確認 95	受発注で鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）の金額差が大きくなっています。 （元請ファイル実績額の過小）	
別途調査等工事価格		
要確認 96	発注ファイル及び元請ファイルの別途調査等工事価格が『未入力』となっています。	1. 別途調査等工事価格を入力してください。 2. 費用がない場合は『0』を入力してください。
要確認 97	発注ファイルの別途調査等工事価格が『未入力』となっています。	
要確認 98	元請ファイルの別途調査等工事価格が『未入力』となっています。	
要確認 99	発注ファイルに費用計上があるのに対して、元請ファイルに実績額の計上がありません。	注）発注者側で積算計上したものに依じた費用を元請ファイルに入力するよう元請担当者に伝えてください。

費目		要確認内容	確認内容
要確認番号			
要確認 100	発注ファイルに費用計上が無いのに対して、元請ファイルに費用計上があります。	受発注で別途調査等工事価格の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過大)	注) 発注者側で積算計上が無い場合は、元請ファイルに費用は計上できません。 積算計上がある場合のみ元請ファイルに費用計上できます。
要確認 101	受発注で別途調査等工事価格の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過大)		
要確認 102	受発注で別途調査等工事価格の金額差が大きくなっています。 (元請ファイル実績額の過小)		
工事価格			
要確認 103	発注ファイル及び元請ファイルの工事価格が『未入力』となっています。	発注工事価格が元請工事価格より小さくなっています。 (落札率が 100%以上)	1. 発注ファイルの『工事費』シートで工事費内訳を入力してください。 入力することで工事価格が自動計算されます。 2. 元請ファイルの『一般事項』シートで工事請負金額を入力してください。 入力することで「工事費」シートに工事価格が自動計算されます。
要確認 104	発注ファイルの工事価格が『未入力』となっています。		『工事費』シートで工事費内訳を入力してください。 入力することで工事価格が自動計算されます。
要確認 105	元請ファイルの工事価格が『未入力』となっています。		『一般事項』シートで工事請負金額を入力してください。 入力することで『工事費』シートに工事価格が自動計算されます。
要確認 106	発注工事価格が元請工事価格より小さくなっています。 (落札率が 100%以上)		1. 発注ファイルの『工事費』シートは、最終変更での金額入力となっているか確認してください。 2. 元請ファイルの『一般事項』シートは、最終変更の請負金額となっているか確認してください。 請負金額から工事価格が自動計算されます。

<table border="1"> <tr> <td data-bbox="240 190 411 241">費目</td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 241 411 286">要確認番号</td> </tr> </table>	費目	要確認番号	要確認内容	確認内容
費目				
要確認番号				
外注経費（外注一般管理費等）				
要確認 107	外注経費（外注一般管理費等）が大きくなっています。	1. 直接工事費及び間接工事費等に計上漏れはないか確認してください。 2. 二次下請以降の費用が計上漏れとなっていないか確認してください。 注）『外注経費（外注一般管理費等）』の項目は、『工事価格』から『工事原価』を差し引いた金額です。 直接工事費や間接工事費等に計上漏れがあると『外注経費（外注一般管理費等）』の金額が大きくなります。 計上漏れがないか確認してください。		
要確認 108	外注経費（外注一般管理費等）が小さくなっています。（マイナス）	1. 直接工事費や間接工事費で二重計上はないか確認してください。 2. 直接工事費や間接工事費に円単位での誤入力はないか確認してください。 注）『外注経費（外注一般管理費等）』の項目は、『工事価格』から『工事原価』を差し引いた金額です。 二重計上があると『外注経費（外注一般管理費等）』の金額が小さくなります。 計上間違いがないか確認してください。		
落札率				
要確認 109	落札率（元請工事価格/発注工事価格）が低い （落札率が 90%未満）	1. 発注ファイル ①『工事費』シートの『工事価格』は最終工事価格での入力となっているか確認してください。 ②金額は『千円』単位での入力になっているか確認してください。 2. 元請ファイル ①『一般事項』シートの『最終工事請負金額』の入力に間違いはないか確認してください。 （工事費シートの工事価格は、一般事項シートで入力した『最終工事請負金額（消費税込）－内消費税相当額』が自動計算されます。） ②金額は『千円』単位での入力になっているか確認してください。 3. 低入札工事の場合は『確認結果』欄にその旨を記入してください。 例）低入札工事 注）落札率が 90%未満で低入札工事ではない場合も『確認結果』欄にその旨を記入してください。 例）確認済み、低入札工事ではない		

港湾

費目	要確認内容	確認内容
要確認番号		
工事一時中止に伴う増加費用（率項目+積上げ項目）		
要確認 110	発注ファイルの工事一時中止に伴う増加費用（率項目+積上げ項目）が『未入力』となっています。	1. 工事一時中止に伴う増加費用（率項目+積上げ項目）を入力してください。 2. 費用が発生しない場合は『0』を入力してください。

12 エラー（E）について

入力シートにおいて、入力内容に不備がある場合は、エラー『E』が表示されます。

エラー『E』表示例

共通仮設費積算対象金額	E	0
共通仮設費積算対象金額(自動計算値)		322,565

※ 共通仮設費積算対象金額の自動計算値は、下記により算出しています。
 ①直接工事費+(2)支給材料費+(5)無償貸付機械等評価額+ハ事業損失防止施設費
 +ロ準備費B処分費-共通仮設費の対象額に含めない費用
 入力した金額と自動計算値にひらきがある場合、上記の各金額を確認してください。

エラー『E』が表示される場合は、下記の一覧表を参考に、該当する項目の入力内容（金額）を確認してください。

シート名 項目	エラー理由	修正方法
工事費		
①直接工事費	『①直接工事費』が内訳合計（『(1)材料費』+『(3)労務費』+『(4)機械器具等損料』+『(6)市場単価』+『(7)その他』）より小さくなっています。	内訳合計（『(1)材料費』+『(3)労務費』+『(4)機械器具等損料』+『(6)市場単価』+『(7)その他』）を修正してください。
共通仮設費積算対象金額	入力値が『0』となっています。	共通仮設費積算対象金額を入力してください。 『共通仮設費積算対象金額（自動計算値）』 =『①直接工事費』+『(2)支給材料費』+『(5)無償貸与機械等評価額』+『ハ事業損失防止施設費』+『ロ準備費B処分費』-『共通仮設費の対象額に含めない費用』
共通仮設費の対象額に含めない費用内訳	『共通仮設費の対象額に含めない費用内訳』の合計金額（『9.処分費等』を除く）が、『①直接工事費（1）材料費』より大きくなっています。（ただし、材料費が『0』の場合は除きます。）	共通仮設費の対象額に含めない費用の内訳を修正してください。 または、『①直接工事費（1）材料費』を修正してください。

シート名		エラー理由	修正方法
項目			
工 期			
⑤設定した作業不能の要因		入力欄をとばして選択しています。	入力欄を上から詰めて選択してください。
		理由が重複しています。	重複している回答を無くしてください。
b. その他の内容を具体的に お書きください。	設定した作業不能の要因で『5. その他』を選択していない場合に、具体的な内容が入力されています。		設定した作業不能の要因で『5. その他』を選択してください。
⑥設定休日数	『⑥設定休日数』がマイナスとなっています。 『⑥設定休日数』 = 『a. 土曜日曜日の設定休日数』 + (『b. 祝日休の設定休日数』 - 『b. の内の土日休の日数』) + (『c. ~f. の設定休日数合計』 - 『c. ~f. の内の土日祝日休の日数』)		『⑦休日の内訳』の日数を修正してください。
⑦休日の内訳			
b. 祝日休の設定休日数	祝日休の設定休日数が内日曜日・土曜日休の日数より小さくなっています。		祝日休の設定休日数、または内日曜日・土曜日休の日数を修正してください。
c. 年末年始の設定休日数	年末年始の設定休日数が内日曜日・土曜日・祝日休の日数より小さくなっています。		年末年始の設定休日数、または内日曜日・土曜日・祝日休の日数を修正してください。
d. ゴールデンウィークの設定休日数	ゴールデンウィークの設定休日数が内日曜日・土曜日・祝日休の日数より小さくなっています。		ゴールデンウィークの設定休日数、または内日曜日・土曜日・祝日休の日数を修正してください。
e. 夏休みの設定休日数	夏休みの設定休日数が内日曜日・土曜日・祝日休の日数より小さくなっています。		夏休みの設定休日数、または内日曜日・土曜日・祝日休の日数を修正してください。
f. その他	その他の設定休日数が内日曜日・土曜日・祝日休の日数より小さくなっています。		その他の設定休日数、または内日曜日・土曜日・祝日休の日数を修正してください。
	その他の休日数に『0』を入力している場合に、具体的な内容が入力されています。		その他の休日数を『1』以上に修正してください。または具体的な内容の入力を消してください。

港湾

シート名	エラー理由	修正方法
項目		
施工環境		
1. 積雪寒冷地	『 NO 』を選択している場合に、冬の施工期間に入力があります。	『 YES 』を選択してください。
2. 一般交通の影響	『 NO 』を選択している場合に、車線の形態・供用形態・車線規制方法に入力があります。	『 YES 』を選択してください。
4. 地下埋設物の作業	『 NO 』を選択している場合に、作業日数に入力があります。	『 YES 』を選択してください。
5. 地元説明	『 NO 』を選択している場合に、説明回数に入力があります。	『 YES 』を選択してください。
6. 協議による社員の拘束	『 NO 』を選択している場合に、理由が入力されています。	『 YES 』を選択してください。
7. 着手指定日までの日数	『 NO 』を選択している場合に、実日数（30日以上）に入力があります。	『 YES 』を選択してください。理由を入力してください。
	『 NO 』を選択している場合に、理由が入力されています。	『 YES 』を選択してください。実日数（30日以上）を入力してください。
	下記より理由を選択しリストで入力	理由が重複しています。
その他の場合入力	理由の選択で『6. その他』を入力している場合に、具体的内容が入力されています。	理由の選択で『6. その他』を選択してください。
8. 工事中止命令	『 NO 』を選択している場合に、工事中止命令に伴う工期延期日数に入力があります。	『 YES 』を選択してください。理由を入力してください。
	『 NO 』を選択している場合に、理由が入力されています。	『 YES 』を選択してください。工期延期日数を入力してください。
9. 緊急工事	『 NO 』を選択している場合に、理由が入力されています。	『 YES 』を選択してください。
10. 作業制約時間	『 NO 』を選択している場合に、作業制約時間が選択されています。	『 YES 』を選択してください。
11. 熱中症対策	「一般事項シート」で『 2：補正無し 』を選択している場合に、工期期間中の真夏日、工期期間日数、積算に用いた熱中症対策率が入力されています。	「一般事項」シートで『 1：補正有り 』を選択してください。
12. 砂防堰堤高さ	『 NO 』を選択している場合に、砂防堰堤高さが入力されています。	『 YES 』を選択してください。

13 提出物

入力作業が全て完了した場合は、『入力システム（⑧発注.xlsx）』を調査票配布サイト（RepoBox）よりアップロードして提出してください。

注1）入力が完了した『入力システム（⑧発注.xlsx）』が最新版であるか、更新日時等で確認してください。

注2）調査票（発注者用、元請者用、下請者用）、チェックリストにウイルスが付いていないか、必ず確認をしてください。

ウイルス対策ソフトで、最新のパターンファイル（ウイルス定義ファイル）を用いてチェックを行ってください。